



第 7 回
日本ジャンボリー
御殿場市滝ヶ原
昭和53年 8月4日～8日



〔撮影＝高倉清雄〕

スカウトの祭典

浜松第10団々委員長 鈴木宗太郎



本年は4年に一度の「ジャンボリー」の年です。第7回日本ジャンボリーは幸い本県の御殿場市で開催されますので、見学に行かれる方が多いと思います。私も数回のジャンボリーを見学しておりますが特に印象に残っている8年前に行なわれた「第13回世界ジャンボリーの」のその感想を記してみたいと思います。

第1に外人スカウトの明確な信仰の心であります。たまたま日曜礼拝を見ましたが、クリスチャン、プロテスタント、仏教、回教それぞれスカウトの信ずる宗教に分れてはいますが、その敬虔な祈りの態度と感謝の気持は、日本のスカウトに欠けたところではないでしょうか、第2に、その国民性や自然環境、風俗伝統の多様性であります。例えば雨の少ない砂漠の国「クウェイト」のスカウト達は、台風を知らないのか「雨」を喜び、テントの外ではしゃぎまわっていましたが、日本のスカウト達は、荒天準備にいそがしい姿に接し、世界は広いという実感を持った次第であります。また、陽気で快活な中南米のスカウトの音楽に対する、リズム感やハーモニーや楽器演奏には、日本のスカウト達が一朝一夕に「まね」のできない、その国の国民

性や伝統が感じられました。

このような多様な国際性の中にも、スカウトとしての、モラルや精神、仲間意識が各所で発揮され、友情交換や相相互理が行なわれていることを知り、このスカウト運動を再認識したのが、第3の感想であります。B—P翁が創り出した運動が、世界に広がり理解されていく間には、幾多の先人の智恵や技術に努力があったことを感ずる次第であります。またこのような伝統を築きあげ名声、を得るまでのスカウト達の精神が現在も誓（やくそく）、掟（さだめ）として現在まで続いていることを忘れてはならないと感じたものであります。

また、第4の印象は、多くの大人やいろいろな関係機関がスカウト達のためよいプログラムとよい環境づくりのため、長い準備期間と奉仕を行っていることも、参加するスカウトはもちろん、関係者一同が忘れてはならないことだと思いました。単に見学についてスバラシイ、タノシイのみでなく、この様な裏方や地域の方々の協力に感謝を忘れず、私達スカウト関係者に期待されているものを認識する必要があります。

どうぞ、本年のジャンボリーには、この様な点にも意を用いて、見学することをしようではありませんか。

53年地区総会によせて

浜松地区委員長 内 田 時 世

日本ジャンボリーの年度が始まりました。そして浜北地区の独立の年度でもございます。おきての第4に「スカウトは友誼に厚い」とあります。今後とも協調の精神とともにスカウトの道を歩きたいと存じます。心より浜北地区の弥栄を唱えて前途をお祝い申し上げます。皆様もよろしくご協力下さい。4月は年度の初めで、いわば正月ということになります。各団は夫々本年度の計画、構想を持たれ、新隊員とその保護者の教育、上進スカウトの訓育と、着実にスカウティングに取り組む姿勢を持たれている事と存じます。日頃ご多忙の中を特にきびしい社会状況の中にあつて皆様にはスカウトの為にご奉仕をいただいておりますことを感謝申し上げます。リーダー養成講習会も試行的に新しい方法を取り上げカブ、ボーイ、シニヤとを同時に進める方法を採用し、時代の流れに則した色々の試行錯誤が実施されますが、スカウティングの基本は変化するとは考えられません。此の点をお考えの上スカウティングに奉仕していただきたいとおもいます。今回の第50回春の甲子園に於て浜松商業が優勝しました。野球をスカウティングに置き換えて考えれば、磯部監督はすばらしいS・Sの隊長であるといえましょう。他山の石として大いに勉むべき事が沢山あると存じます。一人のスターもヒーローも居ないチームが優勝という日本一の栄冠を獲得した結果について、色々の見方があるでしょうけれども、彼等は基本に忠実であつて、個人の人間性の現われ

に目覚めたチームであつた。といえるでしょう。磯部監督は現在高校生の価値感には混乱があり、教師も保護者もそれを傍観している。これではいけないという気持ちより高校三年間に一つの目標、一つの道を徹底的に鍛える必要があるという信念で野球という自分に支えられた場を利用して実行してみたにすぎないと、甲子園という言葉は野球をする者にとっては最大の魅力である。そこで、此の3文字を利用したと、いわゆる野球教育です。負けないチームを作りたい、それにはどうすればよいか、体力の限界までやるしか方法はないと考え、或る時は28名の部員中5～6名の者が立っているのが精一杯で他の残りは全員グラウンドにたおれ動けなくなった事もあつた、一日10時間練習した日もあつたと、そこまで実行出来た此の監督の偉大さに私は敬意をあらわしたいとおもいます。然しその陰には表面に出ない協力の奉仕が沢山あつたからこそだとおもいます。彼磯部監督の奥さんは「私の家は母子家庭です」と答えています。皆様のご奉仕も色々の犠牲の上に成立していることとおもいます。後藤初代総長の「人のお世話にならぬよう。人のお世話をするように。そして、むくいを求めるな」の言葉の重さを今更のようを考えさせられます。私は私の理想像として、此の言葉を味わい頑張っていくつもりであります。皆様是非本年もスカウトのためにご協力をいただきたく存じます。

昭和53年度 事業計画

日本ボーイスカウト浜松地区

月別	区分	地 区 関 係	ス カ ウ ト 関 係	日 連 ・ 県 連 関 係	講 習 会	研 修 会
4		地区総会(25)	緑の羽根募金 D・M・D・S研修会(各小地区ごと)	実習所B・S45期 (29～5)	静岡 (15～16)	
5		浜松まつり駐車場奉仕(3～ (3～5))	スカウト週間	県連総会(28) 実修所C・S33期 (5～10) 年次全国会議 (20～21)	浜名 (13～14) 富士宮(20～21)	C・S16期 (2～5) 沼津
6		団委員研修会(25) ヨットリーダー研修会 (10～11)	S・Sヨット訓練 (17～18)	実修所B・S46期 (3～9)	庵原 (17～18) 清水 () 伊東	B・S15期 (2～5) 朝霧
7			S・Sヨット訓練 (22～23)	スコットランド国際パトロール ジャンボレット (18～28) マレーシアジャンボリー (24～31)	掛川	
8			第7回日本ジャンボリー(4～8) S・Sヨット訓練 (26～27)	実修所B・S47期 (19～25) C・S34期 (25～30)		
9		地区大会(10)		実修所C・S35期 (10～15) B・S48期 (15～21)	熱海 (9～10) 磐田(22～23)	B・S16期 (22～25) 朝霧
10		J・O・T・A (14～15) B・Sソフトボール大会(29)		B・S・G・S東海ブロック研究集会 実修所S・S3期 (7～12) C・S36期 (12～17) B・S49期 (23～29)	三島 (22～23) 志太島田	S・S3期 (7～10) 朝霧
11		B・Sリーダー研修会 C・Sリーダー研修会			富士 (18～19)	C・S17期 (2～5) 浜松
12			S・Sクリスマス大会	インドジャンボリー オーストラリアシニアスカウト大会		
1		日の出逢拜式(1)中田島海岸				
2		S・Sリーダー研修会	B-P祭 (各小地区ごと)	トレーニングチーム研究集会		
3		班長訓練野営 (22～25)	緑の羽根募金			
備考				県大会(東、中、西会場)北遠地区		

昭和52年度 地区協議会収支決算報告書

自 昭和52年 4 月 1 日 至 昭和53年 3 月31日

日本ボーイスカウト浜松地区協議会

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	算 額 額	決 算 額	差 異 額	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異 額
前 期 繰 越 額	608,977	608,977	0	会 議 費	100,000	85,000	15,000
地 区 分 担 金	784,800	784,800	0	印 刷 費	75,000	182,800	△107,800
委 託 金	65,000	65,000	0	事 務 費	60,000	5,688	54,312
寄 附 金	350,000	648,000	298,000	通 信 費	120,000	183,350	△ 63,350
雑 収 入	70,000	145,989	75,989	慶 弔 費	30,000	1,000	29,000
				備 品 費	350,000	121,250	228,750
				旅 費	60,000	55,200	4,800
				研 修 費	490,000	329,889	160,111
				行 事 費	210,000	217,290	△ 7,290
				運 営 費	80,000	8,000	0
				保 管 料	60,000	60,000	0
				援 助 会	100,000	100,000	0
				分 担 会	4,000	62,000	△ 58,000
				雑 費	45,000	148,710	△103,710
				予 備 費	94,777	0	94,777
合 計	1,878,777	2,252,766	373,989	合 計	1,878,777	1,632,177	246,600
				差引翌期繰越額		620,589	

上記の通り収支決算報告をいたします。

昭和53年 4 月25日

日本ボーイスカウト浜松地区会計

伊 熊 正 治 ㊞

上記収支決算監査の結課正当・正確であることを認めます。

昭和53年 4 月25日

日本ボーイスカウト浜松地区財政委員長

金 森 武 夫 ㊞

昭和53年度 浜 松 地 区 協 議 会 役 員 名

()内数字は所属団を示す。

協 議 会 長 吉沢純道(1)
 副 協 議 会 長 柳本冬彦(10) 青葉貞雄(11) 林良太郎(15)
 地 区 委 員 長 内田時世(4)
 地 区 副 委 員 長 内田嘉一(1) 宮沢広士(12) 市川重雄(16)
 財 政 委 員 長 会森武夫(12)
 財 政 副 委 員 長 齊藤繁雄(11) 杉本晴夫(16) 伊熊正治(18) 間片 浩(24)
 内山達三(25)
 組 織 拡 張 委 員 長 山中将司(15)
 組 織 拡 張 副 委 員 長 吉沢正道(1) 坪井愛三(7) 袴田栄治(15) 宇野三男(18)
 野中豊治(19) 館 孝道(25) 高須岩夫(引)(2)
 指 導 者 養 成 委 員 長 青木誠二(1)
 指 導 者 養 成 副 委 員 長 光部四郎(7) 奥沢達司(14) 新谷 豊(16) 渥美俊策(19)
 大木俊夫(22) 高部良平(23)
 進 歩 委 員 長 中嶋圭介(12)
 進 歩 副 委 員 長 山田昌彦(6) 谷口久雄(7) 鈴木 護(19) 横山寅彦(22)
 山中洋一(可)(1)
 野 営 行 事 委 員 長 竹村徳一(20)
 野 営 行 事 副 委 員 長 岡本一郎(1) 鈴木宗太郎(10) 青木実(12) 川瀬愛次郎(15)
 木村清治(21) 尾川安雄(25)
 健 康 安 全 委 員 長 平山木一(15)

健康安全副委員長 木村敏夫(12) 長尾静夫(14) 阿部正昌(21)
 新村日出夫(25) 永田千一(細)(1)
 地 区 会 計 伊熊正治(18)

浜松地区コミッショナー
 副コミッショナー — C ・ S 担 当 後藤 守利(10)
 — B ・ S 担 当 名倉徳一郎(15)
 — S ・ S、RS 担 当 新居 信一(16)
 — 中央小地区担当 玉木 功一(21)
 — 西部小地区担当 永田 通児(7)
 — 南部小地区担当 福世 正志(18)
 — 引佐小地区担当 村上 虎吉(細)(1)
 — 事 務 長 柴田 薫(1)
 — 事 務 次 長 中島 繁光(6)
 — 鈴木 俊輔(11)
 — 訓練チームキャンプ 原田 芳彦(24)
 — スカウト浜松担当 山口 照司(16)
 — 無線クラブ代表 井ノ口泰三(20)
 — ヨットクラブ代表 内山 恵介

弥栄日本連盟表彰・有功章授与さる

鷹章 内田時世（浜松地区委員長）
 かつこう章 中嶋圭介（浜松地区進歩委員長）
 かつこう章 杉山友男（浜北地区委員長）

良知 三夫 可美1団S・S隊長
 稲垣 則曜 可美1団副団委員長
 米山 涼子 浜松1団デンマザー
 平山佑紀子 浜松1団デンマザー

昭和53年5月20日、御殿場市民会館にて行われたボーイスカウト日本連盟年次全国会議の席上に於いて、上記三氏に日連有功章が授与されました。お目出度うございます。今後益々のご精進をお祈りします。

弥栄昭和52年度表彰

県連有功章 吉沢 正道 浜松1団々委員長
 森重千太郎 浜松7団副団委員長
 新谷 豊 浜松16団々委員長
 杉本 晴夫 浜松16団副団委員長
 伊熊 正治 浜松18団々委員長
 宇野 三男 浜松18団委員長
 杉山 直次 浜松11団々委員
 外山 吉保 浜北1団B・S隊長
 有木 高雄 三ヶ日1団々委員長
 地区表彰 柴田 薫 地区事総長・浜松1団R・S副長
 千葉 聡 浜松4団B・S隊長
 青木 左治 浜松1団々委員
 中村 公一 浜松7団副団委員長
 望月 馨 浜松12団C・S副長
 小笠原 勇 浜松14団B・S隊長
 増田 正則 浜松16団R・S隊長
 倉地 香 浜松18団々委員
 生倉 義一 浜松18団R・S隊長
 野中 豊治 浜松19団副団委員長
 井ノ口泰三 浜松20団R・S隊長
 古田 栄一 浜松20団S・S隊長
 木村 清治 浜松21団々委員長
 高橋忠雄 浜松21団副団委員長
 神谷 満雄 浜松21団副団委員長
 玉木正太郎 浜松21団々委員
 阿部 正昌 浜松21団々委員
 小倉 茂嘉 浜北1団C・S副長
 山下 正義 浜北1団B・S副長
 宮木 信男 浜北1団々委員
 大須賀 進 浜北2団C・S隊長
 松本 智治 浜北2団C・S副長
 野中不二夫 浜北3団C・S隊長
 高田 達二 浜北3団C・S副長
 竹内 保夫 浜北3団C・S副長
 中野 岩夫 浜北3団副団委員長
 早戸 新一 細江1団副団委員長
 岡田 松男 細江1団団委員
 村上 虎吉 細江1団B・S隊長
 鴨藤 多作 細江1団B・S副長

○W・B実修所・研修者 19名

実修所

・B・S課程 森川房雄(7) 高倉清雄(7) 玉木功一(21)
 小粥慶治郎(12) 計4名

研修所

・C・S課程 第14期
 生倉由美子(1) 野口光一(4)
 第15期
 松井伸篤(4) 三谷恒子(11) 福田茂雄(18)
 小沢伸市(24) 計6名
 ・B・S課程 第13期
 木村憲弘(1) 森川房雄(7) 市川義明(24)
 細井信雄(24)
 第14期
 竹村徳一(20) 鈴木教介(21) 坪井隆治(北5)
 ・S・S課程 計7名
 S・S課程 第2期
 永田進児(7) 小倉浜孫(12) 計2名

○海外派遣

・B・S静岡県連盟第2回S・Sヒルモント派遣
 (リーダー) 井ノ口泰三(20) 坂東 毅(北1)
 (スカウト) 柴田直宏(1) 吉田規行(4) 山葉浩伸(4) 谷口浩一(7)
 山本幹雄(7) 中村英行(7) 宮下研一(北1)
 高橋秀直(可1) 中村和広(可1) 稲垣英樹(可1)
 リーダー 2名 スカウト10名 計12名

鷹章をいただいて

浜松地区委員長 内田時世

此の度はからずも（たか章）をいただく誉与を得ましたことは誠に感激のいたりでございます。「永年にわたり協力され特に県連盟の育成発展に尽された功績」という表彰状を拝見いたしまして、ただ昭和31年7月より今日まで22年間スカウティングを続けているというだけの私にしてみますれば此の彰は浜松地区の各団関係役員、リーダー、そして育成会の皆様のいただくものであり、日連も地区全員に（たか章）をさし上げるわけにはいかず一応名目上小生が身代りにいただいたものと思っております。

浜松地区は有能なる各運営委員長とコミッションナーグループを持ち活躍している県下最優秀の地区であるから此の誉与によくしたものとおもいます。

私自身自分の非力を棚に上げて後に続く青少年にかかる期待の大なるものがあることをおゆるし願って、私自身更にスカウティングの道を一步一步進まねばと覚悟いたしております。日頃の御協力を感謝申し上げ御挨拶申し上げます。

浜北地区独立に際して

浜北地区委員長 杉 山 友 男



ボーイスカウト浜松地区の皆さん。永い間浜北各団をご指導、育成して下さいましてほんとうにありがとうございました。

おかげさまで去る5月10日浜北市農協本館に於て浜北地区創立第1回総会を開き新役員選出並びに諸議案を可決して新しく浜北地区として発足致すことができました。

思えば15年前、浜北市第1団が浜松地区の一員として仲間入りさせて頂いて以来浜北も5箇団を数えるに至り、且つ昨秋浜北第5団のカブスカウト隊発足と共に各団完全団となり、分封しなければならない条件が揃ってしまいました。

そうした中で独立するとなれば悩みは果てしなく、指導者層も仲々決心ができない程情けない状態でした。

しかし先輩諸先生のご意見は我々にどんなにか活力を与えてくれたかわかりません。

即ち「結成披露などのお祭行事を考える必要はない。まず団結して組織をつくり地区として動き出すことである」と言ったような激励の言葉に元気づけられ、動き出したような始末です。

結成祝賀行事は秋頃にやる予定のため未だ実施しておりませんが、デンマザー講習会、デンチーフ講習会は浜北市社教センターで6月11日に、団委員研修会は平口不動寺で1泊2日約40名参加して賑やかに実施することができました。

また5月の風揚げ駐車場奉仕には浜北地区も応援させて頂きました。

末節になって恐縮ですが、浜北地区総会には内田委員長はご遠路、来賓としてご出席せられ且つ浜松地区よりご支援のため多大のご芳志を頂き、ほんとうにありがとうございました。

我々は独立したというものの、文字通りヨチヨチ歩きでございます。しかしお互いにスカウト精神の原点に立脚して、浜松地区の各位を見習い、地区役員リーダー和を以って精進努力をつづける覚悟でございますので、本家に当る浜松地区の皆さん今後共よろしくご指導ご理解の程お願いしてご挨拶に代えさせて頂きます。

デンチーフ研修会を終えて

CS担当地区副コミショナー 後 藤 守 利

昭和53年度のデンチーフ研修会は、4月30日（西部ブロック）5月28日（中央ブロック）で、各小地区コミショナーを中心に行なわれ、合計114名のスカウトが各会場でデンチーフとしての研修に励み、立派に修了いたしました。

カブスカウト隊におけるデンチーフの重要性は、日本連盟でも認識しており、特修章課目にも取り入れられています。

このようにカブスカウトのお兄さん役と、ボーイスカウト隊からの親善大使としての使命のほか、デンチーフを体験することによる指導力の増進を目指しているのもであります。

静岡県連盟では、この点に注目し全国に先がけて要項を定め各地区において実施するもので、当浜松地区では昭和43年度以降継続しておりますが、この間修了したデンチーフ達の活躍とデンマザーや各国のリーダーの努力により、地区内の19個団で

620名のカブスカウトが活動する程立派な地区になってまいりました。



南部ブロックデンマザー研修会

浜松第18団RS隊長 福 世 正 志

53年度、南部ブロックのDM研修会は、4月30日、南部公民館にて行なわれました。あいにくの雨ではあったが、各団の受講者が多数参加され、受講者数55名、本部員、並びに来賓数27名、総数82名であった。9時より受付が始まり、開会式、講義実習と流れるようにプログラムが進行し、消化された。机にむかうお母さん方は息つく暇もなく、ペンを走らせている。そんな受講者の険しい顔も、ゲームや、歌、昼食になると、顔もほころび、明るい笑い声が聞こえ、なごやかな雰囲気研修風景がわかる。でも、リーダー達の顔は最後まで厳しい。

子供達の明日の進歩を夢み、DMに寄せる期待も大きい。4時の閉会式迄の時間もあっという間に過ぎてしまい、修了証書を受け取る顔に安堵の様子がうかがえた。後日、ある団の反省会では、受講後の責任の重大さを痛感していた様子です。リーダーの我々は、受講者の皆様方が、DMとして踏み出す第一歩のお役に立てばと思うと同時に今後の活躍を期待したい。

DM研修会 予定表

9時	受付、組分け
9時15分	事前研修
9時30分	開会式
10時	CSのDM
11時	歌とゲーム
11時15分	カブ隊のしくみとリーダー
12時	昼食
12時45分	プログラムの流れと月例リーダー集会
14時	組集会の実習
15時	質疑応答
15時30分	閉会式



デンマザー紹介

浜松第10団 デンマザー

1. 鈴木タツ子さん 息子と一緒にカブ生活に入り、カブ生活にも馴れ、子供達を愛し、気さくな人。
1. 座間邦江 2人の息子と6年目のカブ活動、デンマザー2回目、主人は副長、スカウト一家。



2. 海野恭子さん ボーイ活動に理解有る一家、主人は団委員長政委員、明るい性質の人。
2. 後藤沙子さん 10団にカブ設立の斉御主人（後藤守利氏）のお手伝いの片わら大変御苦労なさり亦お譲さん2人はガールスカウトで活役中、亦ガールスカウト団委員。
3. 横井福子さん 自営業のお忙しい中を子供達の為に一生懸命つくしてくれるお母さん。
3. 鈴木加代子さん 3人の息子さんを持つお母さんとして、子供達の気持が理解出来、スカウト達も大変良くなつてお母さん。
4. 那須田美保子 家電販売業を営み、人とのつながりも広く、小供を愛し亦主人の大変な努力と御理解を感謝致します。
4. 中田英子さん スカウト生活が短かいにもかかわらず、スカウトに良くつくし行動力の有る人。
5. 松本澄子さん 月数は少ないが3回目のDMとして、キャリアもあるので、一生懸命役目をはたしてくれます。
6. 古橋俊江さん 酒販売業、毎日が大変お忙しい人、にもかかわらず主人共共良理解しスカウトにつくしてくれます。
6. 江間弘恵さん 菓子販売業、商売がら小供達と接する数が多い関係上子供に好かれ亦子供と一緒に遊んでくれる。
5. 江間芳江さん 今年度初めてカブ隊に入隊し色々大変だとは思いますがファイトを持って頑張ってください。

浜松第16団のデンマザー

浜松16団のデンマザー紹介を依頼されたが、ちょっととまどっているところだ。

わが隊のデンマザーはカブスカウトのお母さん全員がそれぞれ2ヶ月づつ受けもって、カブスカウト活動に積極的に参加するシステムであるからです。自分の子供だけでなく組の子供を通して、子供の成長、成績の進み方、礼儀作法等、十分に観察しながら、家庭内での躾の反省の材料とし、又組で行う集会を通して得たいろいろな事柄、そして運営によって得た体験を、



こんどは社会にむかって積極的に実践し、社会へも奉仕の心を持っていただきたいと思います。

我が団のお母さん方もデンマザーになる時多少不安があるようですが、その任になれば、どなたにもできることであるのでせいーぱい頑張ってください。デンマザーは皆んな若かくて、健康で元気よく組の和の隊活動に参加してくれます。これからもどうぞその調子でいきましょう。

この写真は了度私の2階で組合会を開いた時の4.5月6.7月のデンマザーです。

我が18団のデンマザー

入山DMコーチ第102期指導者講習会修了カブ発隊以来DMとして活躍され今年度は新しいDMのコーチを担当しています。御主人はBS副長、SSの長男、CS二男と、青少年育成に熱意を燃やしているスカウト一家です。

渥美DMコーチ第102期指導者講習会修了長男和之君BS入隊したのを機会に団委員をお願いし在任中DM研修会、指導者講習会を受講常に温厚な人柄で発隊以来DMとして活躍され今年度は入山DM同様コーチを担当され健全な青少年の育成と社会奉仕のため、がんばりたいと、はりきっています。

神田DMコーチ第102期指導者講習会修了日之出物産(株)を経営する御主人の片腕となり、三男一女の母として多忙ですが、SSの長男、BS二男、三男隆弘をCSに入隊させスカウト精神の実践を第1と考えて、その指導育成に情熱を燃やし、団委員、DM、DMコーチとして活躍されているスカウト一家です。

伊熊初子DM

一男一女の母、発隊当時御主人にDDを今年度は御夫婦で団委員とDMを引き受けられ、常日頃の明朗快活な処が子供達に十二分に浸透させるよう一生懸命に活躍されています。

寺田喜代DM

一男一女の母、御主人は発隊当時DDで活躍され、今年度は御夫婦で団委員、DMを引き受けられ、明朗活発に子供達が成長するよう情熱を燃やし一生懸命にがんばっています。

大石昌代DM

前列左から 入江、温美、神田
後列左から 伊熊初、寺田、大石、伊熊光、池谷、松尾



二児の母、祖母御主人の御理解と協力をバックに、DMを引き受けていただき、温厚な性格で子供達に接しています。又DMに似た様な子が集まる中で明朗快活に子供達の成長を願って活躍しています。

伊熊光系DM

二男一女の母、長男克己君BS入隊以来御主人に団委員を引き受けていただき、二男俊介君CSに入隊を機会にDMとし御夫婦でスカウト運動の良き理解者として、一家総出で活躍中のスカウト一家です。

池谷節子DM

一男一女の母として家庭では祖父母御主人五人家族の主婦とし又職業婦人として御多忙の中DMを引き受けられ誠実を、モットウにスカウト運動に情熱を燃やし活躍されています。

松尾美江子DM

二児の母、長男慈久君CS入隊を機会にDM研修会を受講され、神田DMコーチの良き協力者としてDM補として活躍。今年度はDMを引き受けられ、前年度の経験を生かして、すばらしい活躍をされることと期待されています。又御主人も団委員としてがんばっています。

浜松第20団のDM

浜松第20団カプ隊のDMを紹介します。

1組は、村松さん

花にたとえて、白いバラ

清らかで、やさしく、美しいDMです。

2組は、猪塚さん

花にたとえて、グラジオラス

上品で、やわらかな、大らかなDMです。

3組は、小田木さん

花にたとえて 山ゆりの花

やさしく、そっとしておきたい感じです。

4組は、中村さん

花にたとえて、ボンボンダリア

可愛らしく、大人からも子供からも親しみやすい、お店の奥さんです。

5組は、山下さん

花にたとえて、姫(?)ひまわり

小柄な方ですが、いつも明るく元気で太陽にも負けなガンバリヤさんです。

6組は、後藤さん

花にたとえて、小菊の花

誰れとでも気持ちを合わせてくれて、やさしく、可愛らしいDMです。

7組は、植田さん

花にたとえて、タンポポの花

親しみやすく、明るく元気な奥様です。

8組は、竹村さん

花にたとえて、コスモスの花

しっかりした、それでいて柔かな、素適な奥さまです。

20団は、本当に良いDMの集まりです。

我が隊のデンマザー

浜松23団カプ隊副長 小野田 悟朗

23団のデンマザーを紹介します。4組に分かれていて、平均年齢三十?才。とても若々しい感じです。

1組 土屋好子 メガネをかけてデンマザーハットをかぶれば



一見芸術家タイプ、4つの目でいつもリーダーを見つめている。

2組 辻村京子 物言いがやさしくどこにでもいる「お母かん」と言った感じ、スカウトを見つめるまなざしもやさしく、このデンマザーが怒る時があるかな……。

3組 内山笑子 隊長の奥さんとデンマザーの貫録十分、夫婦共々スカウト活動に熱心です。

4組 村松房子 太からず細からず運動神経も良く、スカウトと共にソフトボールなども楽しんでいる様です。

月1回の打ち合せ会を開いていますが、席上デンマザーの発言力に押され、いつも隊長と共に体を小さくして説明しています。組集会ではデンマザーの持味を生かして、スカウトを賞賛し、一生懸命練習させています。そして隊集会のスタンツの発表を楽しみにしている様です。

デンマザー紹介 可美第1団 CS 隊

1組の長谷川さん。今年2年目のDMさん、何事もボリュームで「どんと来い」の感じの頼もしい人。

2組の高橋さん。新入隊の則佳君のお母さん。DM講習を受けられて張切ってやってくれます。

3組の松下さん。2年目のDMさん。一寸温和しい感じがスカウトの晃久君と共にしっかりやってくれます。

4組の加藤さん。新入隊の一郎君のお母さん。一寸小柄だが熱心にやってくれます。八月頃転勤と聞いて残念に思っています。

5組の服部さん。3年目のベテランDMさん、DMさん達のリーダー存在、がんばって下さい。

6組の中村さん。今年2年目のDMさん。多方面に活躍されているお母さん。カプ隊の方もしっかりやってくれています。

(15頁写真参照) (CS隊長 友田記)

浜松地区協議会長 吉沢純道	浜松地区副委員長 内田嘉一	浜松地区副委員長 市川重雄
浜松地区委員長 内田時世	浜松地区副委員長 宮沢広士	県連副コミッショナー 三輪悦爾
浜松地区コミッショナー 牧野 績	浜松第25団 C C C 団 副 團 副 育 S S S 委 團 育 成 副 員 委 成 成 長 員 員 長 長 中 德 新 桔 德 正 館 尾 内 桔 新 村 田 村 日 川 田 川 山 村 村 隆 芳 清 幸 秀 孝 達 一 秋 則 郎 孝 夫 一 進 治 道 雄 三 太 賀	浜松第1団 R S B C 副 副 育 S S S S 團 團 成 隊 副 副 副 委 委 成 長 長 長 長 員 員 長 渡 増 川 木 河 生 鈴 広 天 井 岡 齊 吉 飯 辺 尾 上 村 原 倉 木 野 ノ 本 木 沢 島 年 忠 文 恵 美 益 同 一 誠 正 政 啓 雄 弘 敏 子 枝 子 郎 純 次
浜松地区事務長 柴田 薫	可美第1団 S B C 副 副 育 S S S 委 團 成 副 副 副 員 員 成 長 長 長 長 長 長 島 良 中 太 山 伊 友 稲 鈴 山 中 李 太 知 村 田 本 藤 田 垣 木 中 村 屋 田 英 三 俊 導 由 文 則 晴 洋 道 禎 浅 男 夫 晴 進 子 二 哉 旺 雄 一 男 一	浜松第14団 
浜松第20団 団委員・リーダー 一同	浜松第18団 育 成 会 長 城 内 保 団 委 員 長 伊 熊 正 治 団 委 員 一 同 R S 隊 長 福 世 正 志 S S 隊 長 伊 熊 有 祐 B S 1 隊 長 植 田 幾 雄 2 植 田 幾 雄 C S 隊 福 田 茂 雄	浜松第10団  団委員・リーダー 一同
浜松第21団 団委員・リーダー 一同	浜松第19団 C B B C C C 健 野 進 組 財 副 育 副 2 1 2 1 康 野 歩 導 織 政 委 成 隊 副 副 隊 隊 安 行 事 委 委 委 員 会 長 副 副 隊 隊 委 委 委 員 員 長 補 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 庄 影 八 八 古 野 小 舟 藤 林 山 幸 栗 渥 野 鈴 鈴 司 山 木 木 橋 中 沢 越 田 口 田 倉 美 中 木 木 本 本 本 春 訓 良 忠 重 祐 俊 豊 真 雄 之 久 夫 子 美 登 忠 恒 稔 洗 三 敏 策 治 護	浜松第6団 =夏に鍛よう=
浜松第23団 第7回日本ジャンボリー I Y A S A K A		

浜松・連尺町2 TEL 54-4301

**** スカウトコーナー ****

ハイキングに行った事

浜松第10団カブ隊 鈴木 弘之

5月28日湖西連ぼうへハイキングに行きました。高塚駅と舞阪駅に別れて新所原駅まで電車で行き、新所原の駅から街中をならんで暑いのがまんしていっしょうけんめい歩きました。

山のふもとに大きな池があり浄水場のある所で休けいし、そこからいよいよ山に登るのです。山道は細くて急な道で、富士山に登るくらい大変な所もありました。

時々吹く風がとても気持ちよく感じました。2時間ぐらい歩くと、ちょうど上につき、もう体中あせでびしょびしょで、おなかはずき、もうくたくたでした。

おべんとうを食べてから、ずいぶん休んで、みんなで遊んでいると、だれかが「いいけしきがあるよ。」と言ったので見に行ったら、浜名湖が、きれいに見えました。自分達の座った所をきれいにして帰りにとても早く歩き、駅でのんだジュースがおいしかったです。

思い出に残った事

浜松第10団カブ隊 海野 吉弘

入隊した初めは、時々いやになってやめたい気持ちになった事もあったが、今は、とても楽しい。

隊集会には、組集会で作った作品を発表したり、ゲームで遊んだり、良く出来た時には「おめでとうウオー。」とほめあってとても楽しみだ。

一年に一回の親子ハイイクは、楽しかった。その中でも、雪遊びの時が一番印象に残っている。スズラン高原スキー場についた時は、あたり一面に雪が積っていて、だれもふんでいない所を歩いたら「ズブズブ」と足全体が雪で見えなくなるほど深かった。スノーボードに乗って、高い所から低い所にすべりおると雪がパツと体に飛んで来たり、へただったりすると、びっくりかえって「ワーワー、キャーキャー」と、みんなとてもはしゃいでいた。組集会で作った雪だるまのふんそうは、各組ともとてもけっ作だった。ぼくの組では、飛べそんごくうだったの、白い雪に赤い衣しょうでとてもきれいだったと思った。

宝さがしの時、むちゅうになって、みかんやアメ玉を取り、とても楽しい一日だった。

そのほかのハイキングの時に、山登りなどをすると、とてもつかれて、途中で帰りたくなる時もあるけど、ちょうど上についた時には、心の中で「よかった」と思う。やっぱりスカウトは、色々な経験ができるので、とても楽しいと思います。

上 進 式

浜松第10団ボーイ隊 那須田 周平

4月9日上進式だった。ぼくは、カブスカウトからボーイスカウトに上進した。カブ隊の隊長さんが「このロープをこした

ら、もうカブにはもどれないよ。」と言われた。ぼくは一しゅん迷ったが、思い切って飛びこした。とてもうれしかった。その後、団委員長さんからボーイのネッカチーフをもらい各班に分かれた。ぼくは、兄と同じ班になったので気強く感じた。

5月13日に青年の家で舎営があった。その時ボーイになって始めてだったので、はしゃいでしまった。

つぎは浜でキャンプでした。その時、設営のしかたや、ごはんのたき方などを覚えた。とても楽しかった。

ボーイはカブとちがって親にたよらないし、班長や先輩に教えてもらいテントを張ったり、食事のしたくもしなければならぬ。これからも自分の役割は自分で果して、りっぱなスカウトになりたいです。

進級して初めてののやえい

浜松第10団ボーイ隊 鈴木 一徳

6月10日・11日はカブスカウトからボーイスカウトへ進級して初めてののやえいだった。とてもワクワクした。つばいの浜へのキャンプでした。雨の事を心配しましたが、雨はふりませんでした。よかったなと思いました。

思い出すと、カブスカウトの時は、隊長や父や母の後おしがあつたからこそ、やってこれたのだと思う。でもボーイスカウトは、はん長の指示を聞いてしっかりと自分たちでやっていかなければいけない。自分がボーイだと確信しての、のやえいだった。つくんとテントをはった。ぼくは、支えているだけの仕事だった。そして、夕飯の用意。ぼくはまき拾い。夕飯は、こげたご飯やピシヤピシヤのカレーなど、おなかがいなくなりそうなもの。そして、ご飯が終われば決まって皿洗い。その中で一番楽しかったのは、ねる時。初めてねるねぶくろ。みんなでやったりとりなど楽しい事だった。そして、次の朝、大変な事に、はん長たち一級がみんな部活で帰ってしまった。初級二人と二級一人の合計三人となった。「テント」や「フライ」をたたむのには苦労した。雨もふってきて大変なさわざだった。自転車でかっぱを着て、下を向いて走ったこと。こんな困なんを乗りこえて家についた時、ほっとした。のやえいはいろいろと経験したなと思う。それと同時に、今度ののやえいがとても楽しみになってきた。家につくと、つかれが出たが、楽しかったのやえいだった。

設 営 2 年 目

浜松第16団ボーイ隊 中村 伸明

「ガチャッ」ドアのしまる音、キャンプ地についた。これから1泊2日の第10団との合同キャンプだ。第10団はもう設営を終っていた。さすがは第10団、物が良いのか技術が良いのか知らないけど、きれいに設営がしてあった。「うちはあんなにはならないな」ともうらやましい思いがした。

ぼくの班は、2年2人、6年4人で、6年は全くキャンプ経験がないというきびしさ。キャンプ中はほとんどぼくが指示し

**** スカウトコーナー ****

ていたが、実はキャンプは2年前の夏以来 やっていなかった。

やはり、経験不足と、経験不足が重なって、他の班より1テンポ遅れてしまった。ぼくが6年に命令するとポカンとして、いるやつやかってに他の方へ行ってしまうたりで、小学生は使にくいな、などと思った。もっともぼくも指導のし方が悪かったことがたくさんあるので、ぼくにも責任がある。やはりぼくはダメなやつなのかな、と考えたりした。そして今度のキャンプを反省してみてもキャンプは知識よりも体験、経験が大事だと言うことを大きく感じた。

スキーの思い出

浜松第16団カブ隊 福田 哲也

浜松第16団にはいつ、もう1年になります。いろいろなことをしました。たとえばゲームをしたり、こてきをしたり、ピクニックにいたり、スキーにいたりしたことがぼくには思い出になりました。ぼくは、スキーに行った時とてもつかれたので、つぎの日にはいてしまいました。その時ふく長はとてもやさしくぼくのめんどろを見てくれました。その日は帰るまでふとんの中でねていました。帰りは1時ごろスキー場から帰りました。またバスの中ではくかもしれないので一番前にのせてもらいました。だからきませんでした。家についた時は元気でしたけども、すぐねました。たい長は、いつでもにこにこして、とてもやさしいです。

ボーイスカウトとは何か

浜松第16団ボーイ隊 永井 信夫

自分にとってBSとは何か、みんな考えたことがあるだろう。ぼくはしばしばそんなことを考える。ぼくにとってBSとは自分の力をためすものであり、自分の力をのばすものであり、気軽につきあえる友だちを作るものだと思う。また年の差というものもなく自由に話しあい、協力していろいろなことをやりとげる場でもあると思う。

みんなも考えると思う。しかし考えるだけではだめである。キャンプ、ハイク、その他の時にそのような事が実践されなければいけない。それがキャンプ、ハイク、その他の行事の目的だと思う。

ぼくがCSに入ったばかりの時は、とても出てくるのがいやだった。しかし3年と少したった今ではもう夢中になっている。塾もなにも無視していっしょうけんめいやっているつもりだ。それにいろいろな面でいい影響をうけた。結索も日常よく使われるし、応急処置も役立っている。みんなも自分の技をみがいてもらいたいと思う。このごろは塾などで出席も少ないと思うけど、もっとどんどん出てきてほしいと思う。

すみよし青少年の家

浜松第16団カブ隊 沢 木 大

今日は、はじめてのはんごうすいはんなので、うまく出来るか心配でした。すみよし青少年の家へ着いてからは、すぐはんごうすいはんをしました。はじめにレンガのわれ目をうまく組み合わせて、かまどを作りました。われ目がうまく組み合わないので、少し時間がかかりました。次に火をつけ、はんごうをかけて、ごはんをたきました。ぼくたちがそうしている間、お母さんたちは、カレーを作っていました。出来上がると、みんなでカレーライスを食べました。とてもおいしかったです。食が終わってからは、ウォークラリーをしました。クイズやゲームがたくさん出て来ました。と中で小さな川を1本のロープをもって、とびこすゲームがありました。一度道にまよいましたが、ゴールにたどりつけました。ぼくは、よかったなあと思いました。

さいごには、土れいを作りました。二つ作ったので、一つは来月老人ホームへ行く時のおみやげで、もう一つは、自分の物です。はじめはうまく出来なかったけど、だんだんうまく出来て来ました。ぼくは、なかなかむずかしいなあと思いました。土れい作りが終わると、もう帰りました。とても楽しかったです。

カブスカウトに入って

浜松第16団カブ隊 津々木 一隆

カブスカウトに入ったときに、カブたいのさだめをいしました。1.カブスカウトは、すなおであります。2.カブスカウトは………。といいました。でもあんまりうまくいえませんでした。それでぼくは、この一年間まもれたかということ、そんなにまもれませんでした。だからこんどはがんばりたいと思います。ぼくがどこかにいって一ばんおもしろかったことは、スキーです。すべるとき、つるつるすべるので一番おもしろかったです。はんたいにつらかったことは、緑のは根を売るとき「緑のは根のきょう同ぼ金おねがいます。」と何かいもいったので、のどががらがら声になってしまいました。でも、すこしたったら、がらがら声がなりました。お金を人からもらうのは、こんなにむずかしいということが分りました。らい年のきょう同ぼ金のときには、もっともっとがんばろうと思いました。

オリエンテーリング

浜松第18団カブ隊 江 塚 啓 人

6月11日、ぼくたち第18団カブ、ボーイスカウトは、掛川の高天神へオリエンテーリングに行った。久しぶりに野外へ出た。

さて、バスは北町民会館前に着いた。7人が1組となって出発した。その中の3人が新入隊員なので、いろいろ教えながらゴールめざして歩きだした。1ポイント着くごとに、暗号をさ

**** スカウトコーナー ****



がし、よく地図を見て歩かなければならない。でもぼくたちは、ポイントに着くまでに必ず一回は道をまちがってしまった。あんまり長い道のりを歩くので、つらかったが、ポイントさがしは楽しかった。神社の中や葉のかげなどいろいろな所にかくされてあった。あんがい見つからなかった。4 km位い歩き5ポイントの所で昼飯になった。ところが、おにぎりを食べようとした時雨がぽつぽつ降ってきた。急いで食事をすませ、ゴールまでがんばった。

帰りに隊長は、「カブにとっては、いい天気になった。」と言った。ぼくは、なるほどと思った。それは、雨も一つの訓練だと言いたかったにちがいない。家につくと、もう5時、足がつっぱった。

ぼくは、こう思った。「今日の雨の日のオリエンテーリングが、いつまでも思い出に残るであろう。」

高天神オリエンテーリング

浜松第18団カブ隊 加藤 真通

7時30分お宮集合、8時32分の汽車にのった。天竜川を通ってすごい音だった。石の山や木がたくさんあった。田んぼもいろいろな形があった。磐田を通りすぎた。古い家がたくさんあった。大きな家も新しい家もあった。新かん線も通った。ときどき汽車もすれちがった。袋井も通過した。つぎはかけ川であります。山や茶畑がたくさんあった。かけ川についてバスにのった。トンネルを通った。このトンネルの名前は青田トンネルという名前です。北町こうみんかんでバスをおりた。10時36分にハイキング出発、ぼくたち5はんは、いちばんさいごに出発、はじめのポイントはKのしるしだった。近くに温室がありメロンがなっていた。しばらく歩くと牛小屋があり20頭ぐらいたったかな。こんどはとりいをめじるしにさがしながら歩きます。「見えた。」とだれかがいいました。もうすぐお宮だと言うときに道の右側におた小屋があった。すごく大きいぶたと子ぶたがたくさんいた。お宮のかいだんをかぞえながら上がった。30だんあった。お宮の右のすみに第2のポイントがあった。Tのしるしだった。ポイントのあったところがつしま神社、左側におく山神社、八幡神社、白山神社がまつられていた。ぜんぶ合せてそが神社だった。そが神社を通過、こんどは第3のポイント

をさがします。いくら行っても第3のポイントはみつからなかった。ボーイのお兄さんがと中にいたけど、おしえてくれなかった。なかなかみつからない。うしろにいたおばさんが教えてくれた。3本の木の下だった。ぼくらだと、とおりにすぎたかもしれない、ポイントのしるしは×だった。ここまで来たらいちばんさいごだった、ぼくらははんがもうすこしみんなをおいこしていた。あと2つのポイントをさがさなくては、おべんとうは食べられないから、いっしょうけんめいさがした。

第4のポイントが見つかった。ポイントのしるしはG、あと1つだからがんばった。すこしつかれてきた。第5のポイントが見つかったときはうれしかった。ポイントのしるしはE、これでおべんとう。かいだんをのぼりながら、かずをかぞえたら84だんあった。とてもけしきがよかった。海も見えた。やっとおべんとうです。デンマザーが地図の見方をおしえてくれました。おべんとうをひらくと雨がふってきた。もう雨はやみそうもない。さいごのポイントをさがさなければゴールにいけない。雨がひどくてみんなのあとを歩くだけで、行きよりも楽しくなかった。さいごのポイントは道よりすこし入ったところで、ポイントのしるしはAだった。北町こうみんかんについた。少し休んだらほっとした。

帰りになっても雨はやまなかった。カブスカウトにはいつてもハイキングで、ぼくはとても楽しかったです。



カブスカウトに入って

可美第1団カブ隊 瀬崎 充利

ぼくは、お母さんにすすめられてカブスカウトに入った。お母さんがすすめるのだから、カブスカウトというのは、あんまりおもしろくないものだと思った。だけど、そのうちにだんだんおもしろくなってきそう。

どうしてかという、カブスカウトは、いろいろなものを、かんさつしたり、作ったりすることがわかったからだ。

こまることもある。ぼくは、運動がにが手だ。カブスカウトは、遠くにボールもなげなきやいけないし、水えいもできなくてはいけない。だけど、ぼくのとくいな工作もあるし、キャンプやハイキングにも行ける。たいちょうは、ちょっとこわいけど、いろいろなことを教えてくれる。

**** スカウトコーナー ****



カブスカウトには、いろんなやくそくや、おきてがある。
カブスカウトは ○すなおであります。

- 自分のことは自分でします。
- たがいにたすけあいます。
- おさないものをいたわります。
- すすんでよいことをします。

カブスカウトのせいふくは、かっこいいから、ぼくもせいふくに負けないように、かっこよくなるよう、どりよくしています。

カブたいにはいって

可美第1団カブ隊 松本鉄司

ぼくは、カブスカウトにはいって、どういふことをやるのか、たのしみです。この間、おかあさんにカブたいの一年間の計画をおしえてもらいました。そうしたらキャンプやスキーなど、とても楽しそうなことがいっぱいありました。

それから組集会の帰りに、ちょっとお店へよりました。お店のおじさんが「やー、かっこいいなー」といいました。ぼくはなんだか少しとくいなったような気がした。

ぼくは、カブのやくそくと、さだめをしっかりもって、りっぱなカブになり、りっぱなボーイスカウトになって、ずーとしっかりやります。

ぼくは、くまワッペンだけど、早くカブのしゅうとくかもくをやって矢しょうをむねいっばいにつけたいと思います。

ぼくは、かっこいいせいふくをきて、いろいろな楽しいことをしたりするので、カブスカウトになって、ほんとうによかったです。

カブ隊に にゅう隊して

可美第1団カブ隊 千葉央人

ぼくは、カブ隊に にゅう隊してよかったと思います。キャンプもするし、きもだめしもやったりしていいと思います。でも、ちょっといやな所があります。それは、にゅう隊しきのとき、カブ隊のさだめを、どわすれたことです。そして、おとうさんに、おこられました。おこられたことは、いまもわすれませ

ん。でも、ぼくはこれからだとおもいます。

組しゅう会に出席しても、みんないい人ばかりで、ぼくは、ほっとしました。隊長やデンマザーの人たちに、いろいろ、おしえてもらい、べんきょうしたいとおもいます。そして、すなおな、いいこになりたいです。



カブたいにはいって

可美第1団カブ隊 藤田和行

ぼくは、友だちがいないので、いつもおねえちゃんたちとばかり遊んでいるので、お父さんと、お母さんがカブスカウトにはいりなさいと言ったのではいりました。はいるのがきまって、可美カブスカウト十周年きねんのとき、お母さんといっしょに見にいきました。いろいろな歌を歌って、たのしそでした。ぼくも早くはいって、やってみたいと思いました。

入隊しきのとき、曾根田君と青島君と長谷川君が「藤田君もはいったけー。はいると思わなかったよう」といわれました。知って居る人がいてはずかしかったです。ちかいの言葉を言う時、順番をまって居ると、まちがえた人がいたので、ぼくも、まちがえるかなーと思いました。言い終って、まちがえなかったなので、よかったと思いました。

組わけされて、青島君、曾根田君といっしょになってうれしかったです。

いつも、ぼくは土曜日になると「あしたカブある?。」ときくと、お母さんが「ないよ。」と言われると、つまらないなーと思います。

工作はすきだけど、本をよんだり、かいたりするのはきらいです。友だちとはじめてやるキャンプがたのしみです。たくさん友だちができるといいな。

アドベンチャーキャンプの思い出

可美第1団シニヤ隊 伊藤弘二

B S隊からS S隊に進級して初めて訓練として伊豆大島へのアドベンチャーキャンプのことです。S S隊ではB Sの時と比べて僕達がいろいろと資料を集め計画し、その計画に従って活動するので心細い面もありますが、やった後の気分はいいもの

*** スカウトコーナー ***



です。

さて伊豆大島へのアドベンチャーキャンプは朝5時の出発。僕はSS隊の中で一番年下である。使い走りは僕の番だ。「これもしかない。BSの時には……」いよいよ僕達だけの旅が始まる。浜松駅で見送りを受けて開札口に入る。今まで集まって決めた通りに行くだろうか……と内心不安だった。他のスカウトの顔を見ても不安そうに見えた。しかし僕は車内で陽気にはしゃいだ。僕達を運んでくれる電車は各駅停車だ。次々に駅を過ぎる。僕の活躍する時が近づく。乗るかえの駅についた。使い走りの僕は荷物を他のスカウトに預けて皆の切符を買いに走る……待ち合せ時間に間に合うようにしなければ……気持はあせる。「やっと買った」手に切符を持って皆のところに行く。「サンキュー」皆が言ったこのときは、使い走りも悪くない気分だ。このようにして電車から船へと乗りついで目的地大島へ渡った。

さて行動開始だ！ 地図を広げ計画にしたがって夕方まで歩き回った。足をみたら右足のかかとに大きなマメができていた。ギョッ！ 大島で三日間を過ごした。この間、風が強かった。サイクリングにも苦労した。この暴風はたまげた。僕はこの訓練で自信がついた。自分達ですべてやった。そして無事に帰った。SSとして次の目標にチャレンジする勇気が湧いた。

「ぼくの組のデンマザー」

浜松第23団カブ隊4組 水野幸一

ぼくが、組集会をおえて家に帰りますと、お母さんが出かけて家にカギがかかっていました。ぼくは、雨がふっているし、こまっ、またデンマザーの家に行きました。ぬれたたいふくをハンガーにかけてかわかしてくださり、ぼくはデンマザーの家のふくをかりました。ぼくは、うれしくて「ありがとう。」と大きな声でいいました。それでデンマザーがサンドイッチをたべなさいといった。デンマザーが、ぼくの家へ電話をかけてくれました。電話がすんでからぼくは、お母さんが家にいるからかえりなさいといって、デンマザーがサンドイッチをつつんでぼくにわたしてくれました。ぼくが、デンマザーの家のげんかんまできたとき、かきたようふくをぬごうとしたら、デンマザーが、こんどでいいよ、といってくれました。そして、かさを

かしてくれました。デンマザーが、わらうと目がほそくなってぞうさんの目みたいになります。ぼくは、デンマザーのおこったかおを見たときがありません。

ぼくの組のデンマザー

浜松第23団カブ隊1組 服部洋明

ボクの組のデンマザーは、土屋君のお母さんです。入野町に住んでいて、花がたくさん咲いている家です。メガネをかけていて自動車にのっていて、とてもスマートな人です。組集会へ行く時は、遠いので自転車かバスで行きます。組集会の時、ひまがないときがあって、ぼくたちを見てくれない時があります。何か作る時も、自分たちで考えなさいと言って手伝ってくれません。でもこまかい事をする時は、かんたんにやればいいよ、と言って教えてくれます。すごくやさしくて、あまりおこりません。みんながやりたい事を言うと、すぐにやらせてくれます。

集会が終ると、マンガ本を読んだりキャッチボールなどやっていたっていいと、言ってくれるので、みんなで、ソフトボールをやったり、マンガ本を読んだりしていると、時間がたつのをわすれてしまいます。そんな時、「もう帰るなさいよ。」とやさしく言ってくれます。ボクはデンマザーが大好きです。

舎営に行って

浜松第20団カブ隊6組 猪塚英悟

ぼくたち浜松第20団カブ隊は、4月1日・2日にかけて臨江山公民館で舎営をしました。

臨江山公民館は、ぼくらの家の近くなのでよく知っています。去年もここでやったので山のほうがいいなと思いました。

朝みんなが公民館に集まりました。入隊式をやってゲームなどをしました。夜キャンドルサービスをやっておきました。ねるとき今年弟もカブに入隊して3年生なのに、おねしょをもらすので「トイレに行ったか。」と言ってもおねしょをしたら、と思って心配になりました。だけど朝おきて弟を見たら、もらしていなかったので安心しました。

ピクニックにも行きました。その時、ぼくらの組はゲームをぜんぶ優勝しました。それと、あめが木や草の所にかくしてあって、それをひろいました。ぼくは10コぐらいとれました。

ところが雨がふりそうになったので、いそいで帰りました。今年の舎営は楽しかったです。

雨の高天神オリエンテーリング

浜松第18団ボーイ隊タカ班 山下守央

初めてのオリエンテーリングは、雨。隊員になっての初めての行事です。それが午後より雨になり、もうすこしの所でふり始めた。ポイント6で雨。雨の中での歩きは、とてもつかれた。雨の中での残り4つはとても遠く感じた。ゴールまでがほんとうに長く感じ、ついでみんなの顔を見た時は、ほんとうにうれ

昭和52年度 地区協議会収支決算報告書

自 昭和52年 4 月 1 日 至 昭和53年 3 月31日

日本ボーイスカウト浜松地区協議会

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	算 額 額	決 算 額	差 異 額	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異 額
前 期 繰 越 額	608,977	608,977	0	会 議 費	100,000	85,000	15,000
地 区 分 担 金	784,800	784,800	0	印 刷 費	75,000	182,800	△107,800
委 託 金	65,000	65,000	0	事 務 費	60,000	5,688	54,312
寄 附 金	350,000	648,000	298,000	通 信 費	120,000	183,350	△ 63,350
雑 収 入	70,000	145,989	75,989	慶 弔 費	30,000	1,000	29,000
				備 品 費	350,000	121,250	228,750
				旅 費	60,000	55,200	4,800
				研 修 費	490,000	329,889	160,111
				行 事 費	210,000	217,290	△ 7,290
				運 営 費	80,000	8,000	0
				保 管 料	60,000	60,000	0
				援 助 会	100,000	100,000	0
				分 担 会	4,000	62,000	△ 58,000
				雑 費	45,000	148,710	△103,710
				予 備 費	94,777	0	94,777
合 計	1,878,777	2,252,766	373,989	合 計	1,878,777	1,632,177	246,600
				差引翌期繰越額		620,589	

上記の通り収支決算報告をいたします。

昭和53年 4 月25日

日本ボーイスカウト浜松地区会計

伊 熊 正 治 ㊞

上記収支決算監査の結課正当・正確であることを認めます。

昭和53年 4 月25日

日本ボーイスカウト浜松地区財政委員長

金 森 武 夫 ㊞

昭和53年度 浜 松 地 区 協 議 会 役 員 名

(内数字は所属団を示す。)

協 議 会 長 吉沢純道(1)
副 協 議 会 長 柳本冬彦(10) 青葉貞雄(11) 林良太郎15
地 区 委 員 長 内田時世(4)
地 区 副 委 員 長 内田嘉一(1) 宮沢広士(12) 市川重雄(16)
財 政 委 員 長 会森武夫(12)
財 政 副 委 員 長 齊藤繁雄(11) 杉本晴夫(16) 伊熊正治(18) 間片 浩(24)
組 織 拡 張 委 員 長 内山達三(25)
組 織 拡 張 副 委 員 長 山中将司(15)
指 導 者 養 成 委 員 長 吉沢正道(1) 坪井愛三(7) 袴田栄治(15) 宇野三男(18)
指 導 者 養 成 副 委 員 長 野中豊治19 館 孝道(25) 高須岩夫(引)2)
進 歩 委 員 長 青木誠二(1)
進 歩 副 委 員 長 光部四郎(7) 奥沢達司(14) 新谷 豊(16) 渥美俊策(19)
野 営 行 事 委 員 長 大木俊夫(22) 高部良平(23)
野 営 行 事 副 委 員 長 中嶋圭介(12)
野 営 行 事 副 委 員 長 山田昌彦(6) 谷口久雄(7) 鈴木 護(19) 横山寅彦(22)
野 営 行 事 副 委 員 長 山中洋一(可)1)
野 営 行 事 副 委 員 長 竹村徳一(20)
野 営 行 事 副 委 員 長 岡本一郎(1) 鈴木宗太郎(10)青木実(12) 川瀬愛次郎(15)
野 営 行 事 副 委 員 長 木村清治(21) 尾川安雄(25)
健 康 安 全 委 員 長 平山木一(15)

健康安全副委員長 木村敏夫(12) 長尾静夫(14) 阿部正昌(21)
 新村日出夫(25) 永田千一(細)1)
地 区 会 計 伊熊正治(18)

浜松地区コミッショナー 牧野 績(4)
副コミッショナー 後藤 守利(10)
 C ・ S 担 当 名倉徳一郎(15)
 B ・ S 担 当 新居 信一(16)
 S ・ S、RS 担 当 中央小地区担当 玉木 功一(21)
 中央小地区担当 西部小地区担当 永田 通児(7)
 西部小地区担当 南部小地区担当 福世 正志(18)
 南部小地区担当 引佐小地区担当 村上 虎吉(細)1)
 引佐小地区担当 事 務 長 柴田 薫(1)
 事 務 次 長 中島 繁光(6)
 〃 鈴木 俊輔(11)
 訓練チームキャンプ 原田 芳彦(24)
 スカウト浜松担当 山口 照司(16)
 無線クラブ代表 井ノ口泰三(20)
 ヨットクラブ代表 内山 恵介

弥栄日本連盟表彰・有功章授与さる

鷹章 内田時世（浜松地区委員長）
 かつこう章 中嶋圭介（浜松地区進歩委員長）
 かつこう章 杉山友男（浜北地区委員長）

良知 三夫 可美1団S・S隊長
 稲垣 則曜 可美1団副団委員長
 米山 涼子 浜松1団デンマザー
 平山佑紀子 浜松1団デンマザー

昭和53年5月20日、御殿場市民会館にて行われたボーイスカウト日本連盟年次全国会議の席上に於いて、上記三氏に日連有功章が授与されました。お目出度うございます。今後益々のご精進をお祈りします。

弥栄昭和52年度表彰

県連有功章 吉沢 正道 浜松1団々委員長
 森重千太郎 浜松7団副団委員長
 新谷 豊 浜松16団々委員長
 杉本 晴夫 浜松16団副団委員長
 伊熊 正治 浜松18団々委員長
 宇野 三男 浜松18団委員長
 杉山 直次 浜松11団々委員
 外山 吉保 浜北1団B・S隊長
 有木 高雄 三ヶ日1団々委員長
 地区表彰 柴田 薫 地区事総長・浜松1団R・S副長
 千葉 聡 浜松4団B・S隊長
 青木 左治 浜松1団々委員
 中村 公一 浜松7団副団委員長
 望月 馨 浜松12団C・S副長
 小笠原 勇 浜松14団B・S隊長
 増田 正則 浜松16団R・S隊長
 倉地 香 浜松18団々委員
 生倉 義一 浜松18団R・S隊長
 野中 豊治 浜松19団副団委員長
 井ノ口泰三 浜松20団R・S隊長
 古田 栄一 浜松20団S・S隊長
 木村 清治 浜松21団々委員長
 高橋忠雄 浜松21団副団委員長
 神谷 満雄 浜松21団副団委員長
 玉木正太郎 浜松21団々委員
 阿部 正昌 浜松21団々委員
 小倉 茂嘉 浜北1団C・S副長
 山下 正義 浜北1団B・S副長
 宮本 信男 浜北1団々委員
 大須賀 進 浜北2団C・S隊長
 松本 智治 浜北2団C・S副長
 野中不二夫 浜北3団C・S隊長
 高田 達二 浜北3団C・S副長
 竹内 保夫 浜北3団C・S副長
 中野 岩夫 浜北3団副団委員長
 早戸 新一 細江1団副団委員長
 岡田 松男 細江1団団委員
 村上 虎吉 細江1団B・S隊長
 鴨藤 多作 細江1団B・S副長

○W・B実修所・研修者 19名

実修所

・B・S課程 森川房雄(7) 高倉清雄(7) 玉木功一(21)
 小粥慶治郎(12) 計4名

研修所

・C・S課程 第14期
 生倉由美子(1) 野口光一(4)
 第15期
 松井伸篤(4) 三谷恒子(11) 福田茂雄(18)
 小沢伸市(24) 計6名
 ・B・S課程 第13期
 木村憲弘(1) 森川房雄(7) 市川義明(24)
 細井信雄(24)
 第14期
 竹村徳一(20) 鈴木教介(21) 坪井隆治(北5)
 ・S・S課程 計7名
 S・S課程 第2期
 永田進児(7) 小倉浜孫(12) 計2名

○海外派遣

・B・S静岡県連盟第2回S・Sヒルモント派遣
 (リーダー) 井ノ口泰三(20) 坂東 毅(北1)
 (スカウト) 柴田直宏(1) 吉田規行(4) 山葉浩伸(4) 谷口浩一(7)
 山本幹雄(7) 中村英行(7) 宮下研一(北1)
 高橋秀直(可1) 中村和広(可1) 稲垣英樹(可1)
 リーダー 2名 スカウト10名 計12名

鷹章をいただいて

浜松地区委員長 内田時世

此の度はからずも(たか章)をいただく誉与を得ましたことは誠に感激のいたりでございます。「永年にわたり協力され特に県連盟の育成発展に尽された功績」という表彰状を拝見いたしまして、ただ昭和31年7月より今日まで22年間スカウティングを続けているというだけの私にしてみますれば此の彰は浜松地区の各団関係役員、リーダー、そして育成会の皆様のいただくものであり、日連も地区全員に(たか章)をさし上げるわけにはいかず一応名目上小生が身代りにいただいたものと思っております。

浜松地区は有能なる各運営委員長とコミッショナーグループを持ち活躍している県下最優秀の地区であるから此の誉与によくしたものとおもいます。

私自身自分の非力を棚に上げて後に続く青少年にかかる期待の大なるものがあることをおゆるし願って、私自身更にスカウティングえの道を一步一步進まねばと覚悟いたしております。日頃の御協力を感謝申し上げ御挨拶申し上げます。

浜北地区独立に際して

浜北地区委員長 杉 山 友 男



ボーイスカウト浜松地区の皆さん。永い間浜北各団をご指導、育成して下さいましてほんとうにありがとうございました。

おかげさまで去る5月10日浜北市農協本館に於て浜北地区創立第1回総会を開き新役員選出並びに諸議案を可決して新しく浜北地区として発足致すことができました。

思えば15年前、浜北市第1団が浜松地区の一員として仲間入りさせて頂いて以来浜北も5箇団を数えるに至り、且つ昨秋浜北第5団のカブスカウト隊発足と共に各団完全団となり、分封しなければならない条件が揃ってしまいました。

そうした中で独立するとなれば悩みは果てしく、指導者層も仲々決心ができない程情けない状態でした。

しかし先輩諸先生のご意見は我々にどんなにか活力を与えてくれたかわかりません。

即ち「結成披露などのお祭行事を考える必要はない。まず団結して組織をつくり地区として動き出すことである」と言ったような激励の言葉に元気づけられ、動き出したような始末です。

結成祝賀行事は秋頃にやる予定のため未だ実施しておりませんが、デンマザー講習会、デンチーフ講習会は浜北市社教センターで6月11日に、団委員長研修会は平口不動寺で1泊2日約40名参加して賑やかに実施することができました。

また5月の風揚げ駐車場奉仕には浜北地区も応援させて頂きました。

末節になって恐縮ですが、浜北地区総会には内田委員長はご遠路、来賓としてご出席せられ且つ浜松地区よりご支援のため多大のご芳志を頂き、ほんとうにありがとうございました。

我々は独立したというものの、文字通りヨチヨチ歩きでございます。しかしお互いにスカウト精神の原点に立脚して、浜松地区の各位を見習い、地区役員リーダー和を以って精進努力をつづける覚悟でございますので、本家に当る浜松地区の皆さん今後共よろしくご指導ご理解の程お願いしてご挨拶に代えさせて頂きます。

デンチーフ研修会を終えて

CS担当地区副コミショナー 後 藤 守 利

昭和53年度のデンチーフ研修会は、4月30日（西部ブロック）5月28日（中央ブロック）で、各小地区コミショナーを中心に行なわれ、合計114名のスカウトが各会場でデンチーフとしての研修に励み、立派に修了いたしました。

カブスカウト隊におけるデンチーフの重要性は、日本連盟でも認識しており、特修章課目にも取り入れられています。

このようにカブスカウトのお兄さん役と、ボーイスカウト隊からの親善大使としての使命のほか、デンチーフを体験することによる指導力の増進を目指しているものであります。

静岡県連盟では、この点に注目し全国に先がけて要項を定め各地区において実施するもので、当浜松地区では昭和43年度以降継続しておりますが、この間修了したデンチーフ達の活躍とデンマザーや各国のリーダーの努力により、地区内の19個団で

620名のカブスカウトが活動する程立派な地区になってまいりました。



南部ブロックデンマザー研修会

浜松第18団RS隊長 福 世 正 志

53年度、南部ブロックのDM研修会は、4月30日、南部公民館にて行なわれました。あいにくの雨ではあったが、各団の受講者が多数参加され、受講者数55名、本部員、並びに来賓数27名、総数82名であった。9時より受付が始まり、開会式、講義実習と流れるようにプログラムが進行し、消化された。机にむかうお母さん方は息つく暇もなく、ペンを走らせている。そんな受講者の険しい顔も、ゲームや、歌、昼食になると、顔もほころび、明るい笑い声が聞こえ、なごやかな雰囲気の研究風景がわかる。でも、リーダー達の顔は最後まで厳しい。

子供達の明日の進歩を夢み、DMに寄せる期待も大きい。4時の閉会式迄の時間もあっという間に過ぎてしまい、修了証書を受け取る顔に安堵の様子がうかがえた。後日、ある団の反省会では、受講後の責任の重大さを痛感していた様子です。リーダーの我々は、受講者の皆様方が、DMとして踏み出す第一歩のお役に立てばと思うと同時に今後の活躍を期待したい。

DM研修会予定表

9時	受付、組分け
9時15分	事前研修
9時30分	開会式
10時	CSのDM
11時	歌とゲーム
11時15分	カブ隊のしくみとリーダー
12時	昼食
12時45分	プログラムの流れと月例リーダー集会
14時	組集会の実習
15時	質疑応答
15時30分	閉会式



デンマザー紹介

浜松第10団 デンマザー

1. 鈴木タツ子さん 息子と一緒にカブ生活に入り、カブ生活にも馴れ、子供達を愛し、気さくな人。
1. 座間邦江 2人の息子と6年目のカブ活動、デンマザー2回目、主人は副長、スカウト一家。



2. 海野恭子さん ボーイ活動に理解有る一家、主人は団委員財政委員、明るい性質の人。
2. 後藤沙子さん 10団にカブ設立の斉御主人（後藤守利氏）のお手伝いの片わら大変御苦労なさり亦お譲さん2人はガールスカウトで活役中、亦ガールスカウト団委員。
3. 横井福子さん 自営業のお忙しい中を子供達の為に一生懸命つくしてくれるお母さん。
3. 鈴木加代子さん 3人の息子さんを持つお母さんとして、子供達の気持が理解出来、スカウト達も大変良くなつてお母さん。
4. 那須田美保子 家電販売業を営み、人とのつながりも広く、小供を愛し亦主人の大変な努力と御理解を感謝致します。
4. 中田英子さん スカウト生活が短かいにもかかわらず、スカウトに良くつくし行動力の有る人。
5. 松本澄子さん 月数は少ないが3回目のDMとして、キャリアもあるので、一生懸命役目ははたしてくれます。
6. 古橋俊江さん 酒販売業、毎日が大変お忙しい人、にもかかわらず主人共共良く理解しスカウトにつくしてくれます。
6. 江間弘恵さん 菓子販売業、商売がら小供達と接する数が多い関係上子供に好かれ亦子供と一語になって遊んでくれる。
5. 江間芳江さん 今年度初めてカブ隊に入隊し色々大変だとは思いますがファイトを持って頑張って下さい。

浜松第16団のデンマザー

浜松16団のデンマザー紹介を依頼されたが、ちょっととまどっているところです。

わが隊のデンマザーはカブスカウトのお母さん全員がそれぞれ2ヶ月づつ受けもって、カブスカウト活動に積極的に参加するシステムであるからです。自分の子供だけでなく組の子供を通して、子供の成長、成績の進み方、礼儀作法等、十分に観察しながら、家庭内での躾の反省の材料とし、又組で行う集会を通して得たいろいろな事柄、そして運営によって得た体験を、



こんどは社会にむかって積極的に実践し、社会へも奉仕の心を持っていただきたいと思います。

我が団のお母さん方もデンマザーになる時多少不安があるようですが、その任になれば、どなたにもできることであるのでせいーぱい頑張ってくれます。デンマザーはみんな若かくて、健康で元気よく組の和の隊活動に参加してくれます。これからどうぞその調子でいきましょう。

この写真は了度私の2階で組合会を開いた時の4.5月6.7月のデンマザーです。

我が18団のデンマザー

入山DMコーチ第102期指導者講習会修了カブ発隊以来DMとして活躍され今年度は新らしいDMのコーチを担当しています。御主人はBS副長、SSの長男、CS二男と、青少年育成に熱意を燃やしているスカウト一家です。

渥美DMコーチ第102期指導者講習会修了長男和之君BS入隊したのを機会に団委員をお願いし在任中DM研修会、指導者講習会を受講常に温厚な人柄で発隊以来DMとして活躍され今年度は入山DM同様コーチを担当され健全な青少年の育成と社会奉仕のため、がんばりたいと、はりきっています。

神田DMコーチ第102期指導者講習会修了日之出物産(株)を経営する御主人の片腕となり、三男一女の母として多忙ですが、SSの長男、BS二男、三男隆弘をCSに入隊させスカウト精神の実践を第1と考えて、その指導育成に情熱を燃やし、団委員、DM、DMコーチとして活躍されているスカウト一家です。

伊熊初子DM

一男一女の母、発隊当時御主人にDDを今年度は御夫婦で団委員とDMを引き受けられ、常日頃の明朗快活な処が子供達に十二分に浸透させるよう一生懸命に活躍されています。

寺田喜代DM

一男一女の母、御主人は発隊当時DDで活躍され、今年度は御夫婦で団委員、DMを引き受けられ、明朗活発に子供達が成長するよう情熱を燃やし一生懸命にがんばっています。

大石昌代DM

前列左から入江、温美、神田
後列左から伊熊初、寺田、大石、伊熊光、池谷、松尾



二児の母、祖母御主人の御理解と協力をバックに、DMを引き受けていただき、温厚な性格で子供達に接しています。又DMに似た様な子が集まる中で明朗快活に子供達の成長を願って活躍しています。

伊熊光系DM

二男一女の母、長男克己君BS入隊以来御主人に団委員を引き受けていただき、二男俊介君CSに入隊を機会にDMとし御夫婦でスカウト運動の良き理解者として、一家総出で活躍中のスカウト一家です。

池谷節子DM

一男一女の母として家庭では祖父母御主人五人家族の主婦とし又職業婦人として御多忙の中DMを引き受けられ誠実を、モットウにスカウト運動に情熱を燃やし活躍されています。

松尾美江子DM

二児の母、長男慈久君CS入隊を機会にDM研修会を受講され、神田DMコーチの良き協力者としてDM補として活躍。今年度はDMを引き受けられ、前年度の経験を生かして、すばらしい活躍をされることと期待されています。又御主人も団委員としてがんばっています。

浜松第20団のDM

浜松第20団カブ隊のDMを紹介します。

1組は、村松さん

花にたとえて、白いバラ

清らかで、やさしく、美しいDMです。

2組は、猪塚さん

花にたとえて、グラジオラス

上品で、やわらかな、大らかなDMです。

3組は 小田木さん

花にたとえて 山ゆりの花

やさしく、そっとしておきたい感じです。

4組は 中村さん

花にたとえて、ボンボンダリア

可愛らしく、大人からも子供からも親しみやすい、お店の奥さんです。

5組は、山下さん

花にたとえて、姫(?)ひまわり

小柄な方ですが、いつも明るく元気で太陽にも負けなバリヤさんです。

6組は、後藤さん

花にたとえて、小菊の花

誰れとでも気持を合わせてくれて、やさしく、可愛らしいDMです。

7組は 植田さん

花にたとえて、タンポポの花

親しみやすく、明るく元氣な奥様です。

8組は 竹村さん

花にたとえて、コスモスの花

しっかりした、それでいて柔かな、素適な奥さまです。

20団は、本当に良いDMの集まりです。

我が隊のデンマザー

浜松23団カブ隊副長 小野田 悟 朗

23団のデンマザーを紹介します。4組に分かれていて、平均年齢三十?才。とても若々しい感じです。

1組 土屋好子 メガネをかけてデンマザーハットをかぶれば



一見芸術家タイプ、4つの目でいつもリーダーを見つめている。

2組 辻村京子 物言いがやさしくどこにでもいる「お母かん」と言った感じ、スカウトを見つめるまなざしもやさしく、このデンマザーが怒る時があるかな……。

3組 内山笑子 隊長の奥さんでデンマザーの貫録十分、夫婦共々スカウト活動に熱心です。

4組 村松房子 太からず細からず運動神経も良く、スカウトと共にソフトボールなども楽しんでいる様です。

月1回の打ち合せ会を開いていますが、席上デンマザーの発言力に押され、いつも隊長と共に体を小さくして説明しています。組集会ではデンマザーの持味を生かして、スカウトを賞賛し、一生懸命練習させています。そして隊集会のスタンツの発表を楽しみにしている様です。

デンマザー紹介 可美第1団 CS 隊

1組の長谷川さん。今年2年目のDMさん、何事もボリュームで「どんと来い」の感じの頼もしい人。

2組の高橋さん。新入隊の則佳君のお母さん。DM講習を受けられて張切ってやってくれます。

3組の松下さん。2年目のDMさん。一寸温和しい感じがスカウトの晃久君と共にしっかりやってくれます。

4組の加藤さん。新入隊の一郎君のお母さん。一寸小柄だが熱心にやってくれます。八月頃転勤と聞いて残念に思っています。

5組の服部さん。3年目のベテランDMさん、DMさん達のリーダー存在、がんばって下さい。

6組の中村さん。今年2年目のDMさん。多方面に活躍されているお母さん。カブ隊の方もしっかりやってくれています。

(15頁写真参照) (CS隊長 友田記)

浜松地区協議会長 吉沢純道	浜松地区副委員長 内田嘉一	浜松地区副委員長 市川重雄
浜松地区委員長 内田時世	浜松地区副委員長 宮沢広士	県連副コミッショナー 三輪悦爾
浜松地区コミッショナー 牧野 績	浜松第25団 C C C 団 副 副 育 S S S 委 團 育 副 長 員 委員 成 長 員 長 長 長 中 德 新 桔 德 正 館 尾 内 桔 新 村 田 村 日 田 田 川 山 村 村 隆 芳 清 出 幸 秀 孝 安 達 一 秋 則 郎 孝 夫 一 進 治 道 雄 三 太 賀	浜松第1団 R S B C 副 副 育 S S S S 隊 團 團 成 隊 副 副 副 委 委 成 長 長 長 長 員 員 長 渡 増 川 河 生 鈴 天 井 岡 齊 吉 飯 辺 尾 木 上 村 倉 木 野 ノ 本 木 沢 島 年 忠 文 恵 美 益 同 一 誠 正 政 啓 雄 弘 敏 子 孔 枝 子 郎 一 純 次
浜松地区事務長 柴田 薫		
浜松第20団 団委員・リーダー 一同	可美第1団 S B C 副 副 育 S S S 隊 團 團 成 副 副 副 副 委 委 成 長 長 長 長 員 員 長 島 良 中 太 山 伊 友 稲 鈴 山 中 奎 太 知 村 田 本 藤 田 垣 木 中 村 屋 田 英 三 俊 導 由 文 則 晴 洋 道 禎 浅 男 夫 晴 進 子 二 哉 旺 雄 一 男 一	浜松第14団  団委員・リーダー 一同
浜松第21団 団委員・リーダー 一同	浜松第18団 育 成 会 長 城 内 保 団 委 員 長 伊 熊 正 治 団 委 員 一 同 R S 隊 長 福 世 正 志 S S 隊 長 伊 熊 有 祐 B S 1 隊 長 植 田 幾 雄 〃 2 〃 福 田 茂 雄 C S 隊	浜松第10団  団委員・リーダー 一同
浜松第23団 第7回日本ジャンボリー I Y A S A K A	浜松第19団 C B B C C C C 健 野 進 組 〃 副 育 〃 副 2 1 2 1 康 歩 導 織 財 副 團 成 隊 長 副 副 隊 隊 安 行 事 委 委 委 員 會 長 補 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 庄 影 八 八 古 野 小 沢 越 田 口 田 倉 美 中 木 木 司 山 木 木 橋 中 沢 越 田 口 田 倉 美 中 木 木 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 春 訓 良 忠 重 祐 俊 豊 真 雄 之 久 夫 子 美 登 忠 恒 稔 三 敏 策 治 護 一	浜松第6団 =夏に鍛よう=

**** スカウトコーナー ****

ハイキングに行った事

浜松第10団カブ隊 鈴木 弘之

5月28日湖西連ぼうへハイキングに行きました。高塚駅と舞阪駅に別れて新所原駅まで電車で行き、新所原の駅から街中をならんで暑いのをがまんしていっしょうけんめい歩きました。

山のふもとに大きな池があり浄水場のある所で休けいし、そこからいよいよ山に登るのです。山道は細くて急な道で、富士山に登るくらい大変な所もありました。

時々吹く風がとても気持ちよく感じました。2時間ぐらい歩くと、ちょう上に付き、もう体中あせでびしょびしょで、おなかはずき、もうくたくたでした。

おべんとうを食べてから、ずずしくなって、みんなで遊んでいると、だれかが「いいけしきがあるよ。」と言ったので見に行ったら、浜名湖が、きれいに見えました。自分達の座った所をきれいにして帰りにとても早く歩き、駅でのんだジュースがおいしかったです。

思い出に残った事

浜松第10団カブ隊 海野 吉弘

入隊した初めは、時々いやになってやめたい気持ちになった事もあったが、今は、とても楽しい。

隊集会には、組集会で作った作品を発表したり、ゲームで遊んだり、良く出来た時には「おめでとうウオー。」とほめあってとても楽しみだ。

一年に一回の親子ハイイクは、楽しかった。その中でも、雪遊びの時間が一番印象に残っている。スズラン高原スキー場についた時は、あたり一面に雪が積っていて、だれもふんでいない所を歩いたら「ズブズブ」と足全体が雪で見えなくなるほど深かった。スノーボードに乗って、高い所から低い所にすべりおると雪がパツと体に飛んで来たり、へただったりすると、びっくりかえって「ワーワー、キャーキャー」と、みんなとてもはしゃいでいた。組集会で作った雪だるまのふんそうは、各組ともとてもけっ作だった。ぼくの組では、飛べそんごくうだったの、白い雪に赤い衣しょうでとてもきれいだったと思った。

宝さがしの時、むちゅうになって、みかんやアメ玉を取り、とても楽しい一日だった。

そのほかのハイキングの時に、山登りなどをすると、とてもつかれて、途中で帰りたくなる時もあるけど、ちょう上についた時には、心の中で「よかった」と思う。やっぱりスカウトは、色々な経験ができるので、とても楽しいと思います。

上 進 式

浜松第10団ボーイ隊 那須田 周平

4月9日上進式だった。ぼくは、カブスカウトからボーイスカウトに上進した。カブ隊の隊長さんが「このロープをこした

ら、もうカブにはもどれないよ。」と言われた。ぼくは一しゅん迷ったが、思い切って飛びこした。とてもうれしかった。その後、団委員長さんからボーイのネッカチーフをもらい各班に分かれた。ぼくは、兄と同じ班になったので気強く感じた。

5月13日に青年の家で舎営があった。その時ボーイになって始めてだったので、はしゃいでしまった。

つぎは浜でキャンプでした。その時、設営のしかたや、ごはんのたき方などを覚えた。とても楽しかった。

ボーイはカブとちがって親にたよらないし、班長や先輩に教えてもらいテントを張ったり、食事のしたくもしなければならぬ。これからも自分の役割は自分で果して、りっぱなスカウトになりたいです。

進級して初めてののやえい

浜松第10団ボーイ隊 鈴木 一徳

6月10日・11日はカブスカウトからボーイスカウトへ進級して初めてののやえいだった。とてもワクワクした。つばいの浜へのキャンプでした。雨の事を心配しましたが、雨はふりませんでした。よかったなと思いました。

思い出すと、カブスカウトの時は、隊長や父や母の後おしがあつたからこそ、やってこれたのだと思う。でもボーイスカウトは、はん長の指示を聞いてしっかりと自分たちでやっていかなければいけない。自分がボーイだと確信しての、のやえいだった。つくくとテントをはった。ぼくは、支えているだけの仕事だった。そして、夕飯の用意。ぼくはまき拾い。夕飯は、こげたご飯やピシヤピシヤのカレーなど、おなかがいなくなりそうなもの。そして、ご飯が終われば決まって皿洗い。その中で一番楽しかったのは、ねる時。初めてねるねぶくろ。みんなでやったりとりなど楽しい事だった。そして、次の朝、大変な事に、はん長たち一級がみんな部活で帰ってしまった。初級二人と二級一人の合計三人となった。「テント」や「フライ」をたたむのには苦労した。雨もふってきて大変なさわぎだった。自転車でかっぱを着て、下を向いて走ったこと。こんな困なんを乗りこえて家についた時、ほっとした。のやえいはいろいろと経験したと思う。それと同時に、今度ののやえいがとても楽しみになってきた。家につくと、つかれが出たが、楽しかったのやえいだった。

設 営 2 年 目

浜松第16団ボーイ隊 中村 伸明

「ガチャッ」ドアのしまる音、キャンプ地についた。これから1泊2日の第10団との合同キャンプだ。第10団はもう設営を終っていた。さすがは第10団、物が良いのか技術が良いのか知らないけど、きれいに設営がしてあった。「うちはあんなにはならないな」ともうらやましい思いがした。

ぼくの班は、2年2人、6年4人で、6年は全くキャンプ経験がないというきびしさ。キャンプ中はほとんどぼくが指示し

**** スカウトコーナー ****

ていたが、実はキャンプは2年前の夏以来 やっていなかった。

やはり、経験不足と、経験不足が重なって、他の班より1テンポ遅れてしまった。ぼくが6年に命令するとボカンとして、いるやつやかってに他の方へ行ってしまうたりで、小学生は使いにくいな、などと思った。もっともぼくも指導のし方が悪かったことがたくさんあるので、ぼくにも責任がある。やはりぼくはダメなやつなのかな、と考えたりした。そして今度のキャンプを反省してみてもキャンプは知識よりも体験、経験が大事だと言うことを大きく感じた。

スキーの思い出

浜松第16団カブ隊 福田 哲也

浜松第16団にはいて、もう1年になります。いろいろなことをしました。たとえばゲームをしたり、こてきをしたり、ピクニックにいたり、スキーにいたりしたことがぼくには思い出になりました。ぼくは、スキーに行った時とてもつづいたので、つぎの日にはいてしまいました。その時ふく長はとてもやさしくぼくのめんどろを見てくれました。その日は帰るまでふとんの中でねていました。帰りは1時ごろスキー場から帰りました。またバスの中ではくかもしれないので一番前にのせてもらいました。だからきませんでした。家についた時は元気でしたけども、すぐねました。たい長は、いつでもにこにこして、とてもやさしいです。

ボーイスカウトとは何か

浜松第16団ボーイ隊 永井 信夫

自分にとってBSとは何か、みんな考えたことがあるだろう。ぼくはしばしばそんなことを考える。ぼくにとってBSとは自分の力をためすものであり、自分の力をのばすものであり、気軽につきあえる友だちを作るものだと思う。また年の差というものもなく自由に話しあい、協力していろいろなことをやりとげる場でもあると思う。

みんなも考えると思う。しかし考えるだけではだめである。キャンプ、ハイク、その他の時にそのような事が実践されなければいけない。それがキャンプ、ハイク、その他の行事の目的だと思う。

ぼくがCSに入ったばかりの時は、とても出てくるのがいやだった。しかし3年と少したった今ではもう夢中になっている。塾もなにも無視していっしょうけんめいやっているつもりだ。それにいろいろな面でいい影響をうけた。結索も日常よく使われるし、応急処置も役立っている。みんなも自分の技をみがいてもらいたいと思う。このごろは塾などで出席も少ないと思うけど、もっととどろんと出てきてほしいと思う。

すみよし青少年の家

浜松第16団カブ隊 沢 木 大

今日は、はじめてのはんごうすいはんなので、うまく出来るか心配でした。すみよし青少年の家へ着いてからは、すぐはんごうすいはんをしました。はじめにレンガのわれ目をうまく組み合わせて、かまどを作りました。われ目がうまく組み合わないで、少し時間がかかりました。次に火をつけ、はんごうをかけて、ごはんをたきました。ぼくたちがそうしている間、お母さんたちは、カレーを作っていました。出来上ると、みんなカレーライスを食べました。とてもおいしかったです。食べ終わってからは、ウォークラリーをしました。クイズやゲームがたくさん出て来ました。と中で小さな川を1本のロープをもって、とびこすゲームがありました。一度道にまよいましたが、ゴールにたどりつけました。ぼくは、よかったなあと思いました。

さいごには、土れいを作りました。二つ作ったので、一つは来月老人ホームへ行く時のおみやげで、もう一つは、自分の物です。はじめはうまく出来なかったけど、だんだんうまく出来て来ました。ぼくは、なかなかむずかしいなあと思いました。土れい作りが終わると、もう帰りました。とても楽しかったです。

カブスカウトに入って

浜松第16団カブ隊 津々木 一隆

カブスカウトに入ったときに、カブたいのさだめをいいました。1.カブスカウトは、すなおであります。2.カブスカウトは……。といいました。でもあんまりうまくいえませんでした。それでぼくは、この一年間まもれたかということ、そんなにまもれませんでした。だからこんどはがんばりたいと思います。ぼくがどこかにいって一ばんおもしろかったことは、スキーです。すべるとき、つるつるすべるので一番おもしろかったです。はなたいにつらかったことは、緑のは根を売るとき「緑のは根のきょう同ぼ金おねがいします。」と何かいもいったので、のどががらがら声になってしまいました。でも、すこしたったら、がらがら声がなりました。お金を人からもらうのは、こんなにむずかしいということが分りました。らい年のきょう同ぼ金のときには、もっともっとがんばろうと思いました。

オリエンテーリング

浜松第18団カブ隊 江 塚 啓 人

6月11日、ぼくたち第18団カブ、ボーイスカウトは、掛川の高天神へオリエンテーリングに行った。久しぶりに野外へ出た。

さて、バスは北町民会館前に着いた。7人が1組となって出発した。その中の3人が新入隊員なので、いろいろ教えながらゴールめざして歩きだした。1ポイント着くごとに、暗号をさ

**** スカウトコーナー ****



がし、よく地図を見て歩かなければならない。でもぼくたちは、ポイントに着くまでに必ず一回は道をまちがってしまった。あんまり長い道のりを歩くので、つらかったが、ポイントさがしは楽しかった。神社の中や葉のかげなどいろいろな所にかくされてあった。あんがい見つからなかった。4 km位い歩き5ポイントの所で昼飯になった。ところが、おにぎりを食べようとした時雨がぽつぽつ降ってきた。急いで食事をすませ、ゴールまでがんばった。

帰りに隊長は、「カブにとっては、いい天気になった。」と言った。ぼくは、なるほどと思った。それは、雨も一つの訓練だと言いたかったにちがいない。家につくと、もう5時、足がつぱった。

ぼくは、こう思った。「今日の雨の日のオリエンテーリングが、いつまでも思い出に残るであろう。」

高天神オリエンテーリング

浜松第18団カブ隊 加藤 真通

7時30分お宮集合、8時32分の汽車にのった。天竜川を通ってすごい音だった。石の山や木がたくさんあった。田んぼもいろいろな形があった。磐田を通りすぎた。古い家がたくさんあった。大きな家も新しい家もあった。新かん線も通った。ときどき汽車もすれちがった。袋井も通過した。つぎはかけ川でおります。山や茶畑がたくさんあった。かけ川についてバスにのった。トンネルを通った。このトンネルの名前は青田トンネルという名前です。北町こうみんかんでバスをおりた。10時36分にハイキング出発、ぼくたち5はんは、いちばんさいごに出発、はじめのポイントはKのしるしだった。近くに温室がありメロンがなっていた。しばらく歩くと牛小屋があり20頭ぐらいたったかな。こんどはとりいをめじるしにさがしながら歩きます。「見えた。」とだれかがいいました。もうすぐお宮だと言うときに道の右側にぶた小屋があった。すごく大きいぶたと子ぶたがたくさんいた。お宮のかいだんをかぞえながら上がった。30だんあった。お宮の右のすみに第2のポイントがあった。Tのしるしだった。ポイントのあったところがつしま神社、左側におく山神社、八幡神社、白山神社がまつられていた。ぜんぶ合せてそが神社だった。そが神社を通って、こんどは第3のポイント

をさがします。いくら行っても第3のポイントはみつからなかった。ボーイのお兄さんがと中にいたけど、おしえてくれなかった。なかなかみつからない。うしろにいたおばさんが教えてくれた。3本の木の下だった。ぼくらだと、とおりすぎていたかもしれない、ポイントのしるしはXだった。ここまで来たらいちばんさいごだった、ぼくらのはんがもうすこしみんなをおいこしていた。あと2つのポイントをさがさなくては、おべんとうは食べられないから、いっしょうけんめいさがした。

第4のポイントが見つかった。ポイントのしるしはG、あと1つだからがんばった。すこしつかれてきた。第5のポイントが見つかったときはうれしかった。ポイントのしるしはE、これでおべんとう。かいだんをのぼりながら、かずをかぞえたら84だんあった。とてもけしきがよかった。海も見えた。やっとおべんとうです。デンマザーが地図の見方をおしえてくれました。おべんとうをひらくと雨がふってきた。もう雨はやみそうもない。さいごのポイントをさがさなければゴールにいけない。雨がひどくてみんなのあとを歩くだけで、行きよりも楽しくなかった。さいごのポイントは道よりすこし入ったところで、ポイントのしるしはAだった。北町こうみんかんについた。少し休んだらほっとした。

帰りになっても雨はやまなかった。カブスカウトにはいつのハイキングで、ぼくはとても楽しかったです。



カブスカウトに入って

可美第1団カブ隊 瀬崎 充利

ぼくは、お母さんにすすめられてカブスカウトに入った。お母さんがすすめるのだから、カブスカウトというのは、あんまりおもしろくないものだと思った。だけど、そのうちにだんだんおもしろくなってきそうだ。

どうしてかという、カブスカウトは、いろいろなものを、かんさつしたり、作ったりすることがわかったからだ。

こまることもある。ぼくは、運動がにが手だ。カブスカウトは、遠くにボールもなげなきゃいけないし、水えいもできなくてはいけない。だけど、ぼくのとくいな工作もあるし、キャンプやハイキングにも行ける。たいちょうは、ちょっとこわいけど、いろいろなことを教えてくれる。

**** スカウトコーナー ****



カブスカウトには、いろんなやくそくや、おきてがある。

カブスカウトは ○すなおであります。

○自分のことは自分でします。

○たがいにたすけあいます。

○おさないものをいただきます。

○すすんでよいことをします。

カブスカウトのせいふくは、カッコいいから、ぼくもせいふくに負けないように、カッコよくなるよう、どりよくしています。

カブたいにはいって

可美第1団カブ隊 松本鉄司

ぼくは、カブスカウトにはいって、どういことをやるのか、たのしみです。この間、おかあさんにカブたいの一年間の計画をおしえてもらいました。そうしたらキャンプやスキーなど、とても楽しそうなことがいっぱいありました。

それから組集会の帰りに、ちょっとお店へよりました。お店のおじさんが「やー、カッコいいなー」といいました。ぼくはなんだか少しとくになったような気がした。

ぼくは、カブのやくそくと、さだめをしっかりとまもって、りっぱなカブになり、りっぱなボーイスカウトになって、ずーとしっかりやります。

ぼくは、くまワッペンだけど、早くカブのしゅうとくかまくをやって矢しょうをむねいっぱいにつけたいと思います。

ぼくは、カッコいいせいふくをきて、いろいろな楽しいことをしたりするので、カブスカウトになって、ほんとうによかったです。

カブ隊ににゅう隊して

可美第1団カブ隊 千葉央人

ぼくは、ガブ隊ににゅう隊してよかったと思います。キャンプもするし、きもだめしもやったりしていいと思います。でも、ちょっといやな所があります。それは、にゅう隊しきのとき、カブ隊のさだめを、どわすれたことです。そして、おとうさんに、おこられました。おこられたことは、いまわすれませ

ん。でも、ぼくはこれからだとおもいます。

組しゅう会に出席しても、みんないい人ばかりで、ぼくは、ほっとしました。隊長やデンマザーの人たちに、いろいろ、おしえてもらい、ぺんきょうしたいとおもいます。そして、すなおな、いいこになりたいです。



カブたいにはいって

可美第1団カブ隊 藤田和行

ぼくは、友だちがいないので、いつもおねえちゃんたちとばかり遊んでいるので、お父さんと、お母さんがカブスカウトにはいりなさいと言ったのではいりませんでした。はいるのがきまって、可美カブスカウト十周年きねんのとき、お母さんといっしょに見にいきました。いろいろな歌を歌って、たのしそうでした。ぼくも早くはいって、やってみたいと思いました。

入隊しきのとき、曾根田君と青島君と長谷川君が「藤田君もはいったけー。はいると思わなかったよう」といわれました。知って居る人がいてははずかしかったです。ちかいの言葉を言う時、順番をまて居ると、まちがえた人がいたので、ぼくも、まちがえるかなーと思いました。言い終って、まちがえなかったで、よかったと思いました。

組わけされて、青島君、曾根田君といっしょになってうれしかったです。

いつも、ぼくは土曜日になると「あしたカブある？」ときくと、お母さんが「ないよ。」と言われると、つまらないーと思います。

工作はすきだけど、本をよんだり、かいたりするのはきらいです。友だちとはじめてやるキャンプがたのしみです。たくさん友だちができるといいな。

アドベンチャーキャンプの思い出

可美第1団シニヤ隊 伊藤弘二

BS隊からSS隊に進級して初めて訓練として伊豆大島へのアドベンチャーキャンプのことです。SS隊ではBSの時と比べて僕達がいちいち資料を集め計画し、その計画に従って活動するので心細い面もありますが、やった後の気分はいいもの

*** スカウトコーナー ***



です。

さて伊豆大島へのアドベンチャーキャンプは朝5時の出発。僕はSS隊の中で一番年下である。使い走りは僕の番だ。「これもしかない。BSの時には……」いよいよ僕達だけの旅が始まる。浜松駅で見送りを受けて開札口に入る。今まで集まって決めた通りに行くだろうか……と内心不安だった。他のスカウトの顔を見ても不安そうに見えた。しかし僕は車内で陽気にはしゃいだ。僕達を運んでくれる電車は各駅停車だ。次々に駅を過ぎる。僕の活躍する時が近づく。乗りかえの駅についた。使い走りの僕は荷物を他のスカウトに預けて皆の切符を買いに走る……待ち合せ時間に間に合うようにしなければ……気持はあせる。「やっと買った」手に切符を持って皆のところに行く。「サンキュー」皆が言ったこのときは、使い走りも悪くない気分だ。このようにして電車から船へと乗りついで目的地大島へ渡った。

さて行動開始だ！ 地図を広げ計画にしたがって夕方まで歩き回った。足をみたら右足のかかとに大きなマメができていた。ギョッ！ 大島で三日間を過ごした。この間、風が強かった。サイクリングにも苦労した。この暴風はたまげた。僕はこの訓練で自信がついた。自分達ですべてやった。そして無事に帰った。SSとして次の目標にチャレンジする勇気が湧いた。

「ぼくの組のデンマザー」

浜松第23団カブ隊4組 水野 幸一

ぼくが、組集会をおえて家に帰りますと、お母さんが出かけて家にカギがかかっていた。ぼくは、雨がふっているし、こまって、またデンマザーの家に行きました。ぬれたたいふくをハンガーにかけてかわかしてくださり、ぼくはデンマザーの家のふくをかりました。ぼくは、うれしくて「ありがとう。」と大きな声でいいました。それでデンマザーがサンドイッチをたべなさいといった。デンマザーが、ぼくの家へ電話をかけてくれました。電話がすんでからぼくは、お母さんが家にいるからかえりなさいといって、デンマザーがサンドイッチをつつんでぼくにわたしてくれました。ぼくが、デンマザーの家のげんかんまできたとき、かりたようふくをぬごうとしたら、デンマザーが、こんどでいいよ、といってくれました。そして、かさを

かしてくれました。デンマザーが、わらうと目がほそくなってぞうさんの目みたいになります。ぼくは、デンマザーのおこったかおを見たときがありません。

ぼくの組のデンマザー

浜松第23団カブ隊1組 服部 洋明

ボクの組のデンマザーは、土屋君のお母さんです。入野町に住んでいて、花がたくさん咲いている家です。メガネをかけていて自動車にのっていて、とてもスマートな人です。組集会へ行く時は、遠いので自転車かバスで行きます。組集会の時、ひまがないときがあって、ぼくたちを見てくれない時があります。何か作る時も、自分たちで考えなさいと言って手伝ってくれません。でもこまかい事をする時は、かんたんにやればいいよ、と言って教えてくれます。すごくやさしくて、あまりおこりません。みんながやりたい事を言うと、すぐにやらせてくれます。

集会が終ると、マンガ本を読んだりキャッチボールなどやっていたっていいと、言ってくれるので、みんなで、ソフトボールをやったり、マンガ本を読んだりしていると、時間がたつのをわすれてしまいます。そんな時、「もう帰るなさいよ。」とやさしく言ってくれます。ボクはデンマザーが大好きです。

舎営に行つて

浜松第20団カブ隊6組 猪塚 英悟

ぼくたち浜松第20団カブ隊は、4月1日・2日にかけて臨江山公民館で舎営をしました。

臨江山公民館は、ぼくらの家の近くなのでよく知っています。去年もここでやったので山のほうがいいなと思いました。

朝みんなが公民館に集まりました。入隊式をやつてゲームなどをしました。夜キャンドルサービスをやつておきました。ねるとき今年弟もカブに入隊して3年生なのに、おねしょをもらすので「トイレに行ったか。」と言つてもしおねしょをしたら、と思つて心配になりました。だけど朝おきて弟を見たら、もらしていなかったので安心しました。

ピクニックにも行きました。その時、ぼくらの組はゲームをぜんぶ優勝しました。それと、あめが木や草の所にかくしてあつて、それをひろいました。ぼくは10コぐらいとれました。

ところが雨がふりそうになったので、いそいで帰りました。今年の舎営は楽しかったです。

雨の高天神オリエンテーリング

浜松第18団ボーイ隊タカ班 山下 守央

初めてのオリエンテーリングは、雨。隊員になつての初めての行事です。それが午後より雨になり、もうすこしの所でふり始めた。ポイント6で雨。雨の中での歩きは、とてもつかれた。雨の中での残り4つはとても遠く感じた。ゴールまでがほんとうに長く感じ、ついでみんなの顔を見た時は、ほんとうにうれ

**** スカウトコーナー ****

しかった。隊長が2位だぞと言われた時は、ちょっとがっかり。昼食も食わずに行ってきたのになあ……。

バスの中は、カブの弟連と一しょになって楽しく過ごした。汽車の中はドンコで楽しい時間でした。カブの連中はギャギャうるさいくらいに楽しんでた。ひさしぶりの汽車でわりもない。ぼくたちも、これから人にめいわくのかからないように注意したいです。

今回のオリエンテーリングで一番感じたことは、やっぱりコンパスはかん全に覚えなければいけないと思いました。

班長がいなくても、なんとか2位に入れたことは自分ながらよくがんばったと思う。班員は、ぼく一人ではちょっぴり不安だった。あの雨の中を思いだしただけでもつかれる。

この次はもっともっとがんばるぞ。

優賞 高天神OL

浜松第18団ボーイ隊トラ班 仲秋喜代志

今日、6日11日、高天神OL

現地に着いたぼくたちは、まず、こしをおろした。ああ、ここまで眠むたくなっちゃった。



チームを組んだ。ほかのチームは、2人組。ぼくたち6組だけ3人。こうなったら意地でも優賞してやろうと思った。出発2分前。5. 4. 3. 2. 1 ついに出発。マスターマップまでおもいっきり走った。地図を写し変えると、「気楽に行こうぜ」と稔が言った。1時間ちょっとで、4つさがし当てて稔が、「そろそろ、昼食にしよう」と言った。でもまだ11時半だった。少し登ったら、見晴らしのいい所にでた。屋根つきの休憩所に思わずすわってしまった。ここで食事をした。時間を30分とった。少し食べすぎて、腹がいたい。

出発、昼食をとった所から少し登った時、雨が降ってきた。しかし、ぼくらにとって、一番いい条件だ。みんなは急ぐので食事は昼過ぎになるから。雨が降れば食べにくい。しかし、こっちは不利になった。地図にペンで書いたので、ビニールの中まで水が入り、にじんできた。しかし、あと1つとせまった。でも何とか探し当てて、出発地点にもどった。

「やった、優賞だ。」

悲しかった事 うれしかった事

浜松第20団カブ隊 宮地圭祐

ぼくは、今年くまになりました。今年は、カブスカウト最後の年ですが、今までに、いろいろな事がありました。ぼくが、カブスカウトに入ったのは、お母さんに進められてです。友達と遊ぶのが、へたなぼくが、たくさんの仲間と友達になれるようにと思って入れたのです。

まず悲しかった事です。ぼくはリスの時、無口で、はっきりしていなかったのも、みんなにからかわれました。それは、ぼくの組の人だけではなくて、みんなから悪口を言われていました。その時は、なんでもお母さんに「やめさせて、やめさせて」とたのみました。だけどやめさせてくれませんでした。そんな時、ぼくはベッドの上ののって泣きました。

その反対に、うれしかったこともあります。それは、しかの年の春の舎営のときにゲームをして、ゆう勝したことです。ぼくたち浜松第20団カブ隊は8組まであります。1隊と2隊にわかれてゲームをします。くまの時の春の舎営は、初日はたいていのゲームで、まけてしまいビリの方にいました。2日めの際は組長がいなくなって、次長のぼくが、組長になりました。組の仲間も「もうだめだ、ぼく達は」と言っていました。みんな一生けん命にやって、なんとかゆう勝しました。みんな大よろこびでした。みんなで力をあわせていく事が大切だなと思いました。これからも、みんなで協力しあって、よりよい組を作っていきたいと思います。

可美第1団 カブ隊デンマザー

(本紙7頁本文参照)



第2回ボーイスカウト写真コンテスト

題材 ボーイスカウトの活動や生活をテーマにしたもの。
友情交歓、奉仕活動、県大会、地区大会、ヨット訓練、キャンプ、舎営、隊集会、第7回日本ジャンボリーの活動等。

作品 サイズ 1. 白 黒：サービス判以上
2. カラー：サービス判以上

応募点数 制限なし。ただし入賞は一人一賞とします。

締切り 昭和53年10月31日

賞 ◎最優秀賞〔スカウトの部〕地区協議会長賞 1点
〔成人の部〕地区協議会長賞 1点
◎優 秀 賞〔スカウトの部〕地区委員長賞 3点
〔成人の部〕地区委員長賞 3点
◎入 選 各部「スカウト浜松」記念品 10点

参加資格〔スカウトの部〕カブ、ボーイ、シニヤの各スカウト

〔成人の部〕ローバースカウト、リーダー、団委員長、育成会員、父兄等。

審査 高倉清雄氏および「スカウト浜松」

発表 「スカウト浜松」誌上

入賞者には直接ご通知します。

送り先 ◎団毎にリーダーがまとめて法林寺へ提出
(10月31日のみ受付)

◎郵送及び持込み

〒430 浜松市松江町72

「スカウト浜松」山中将司

TEL (53) 7236番

その他

◎応募作品は未発表のものに限ります。

◎入賞作品はネガフィルムを提出願います。

◎作品の裏面には必ず下記様式の「応募票」に記載事項をお忘れなく記入又は貼ること。

主催 「スカウト浜松」

ボーイスカウト浜松地区委員会

応 募 票			
画 題			
氏 名			
住 所	〒		
所属区分	地区	第	団
該当を ○でかこむ	カブ、ボーイ、シニヤ ローバ、リーダー、団委員長、育成会員。		
カメラ		レ ン ズ	
絞 り	F	シャッター 速 度	—
フィルム	カラー、S、SS、SSS. (該当を○でかこむ)		

う ご き

53年

4月11日 地区コミ会議 (法林寺)

17日 地区SSリーダー会 (市川事務所)

19日 中央小地区リーダー会 (法林寺)

20日 財政・野営行事委員会 ()

25日 地区総会 (青少年の家)

27日 ヨット委員会 (法林寺)

29日 西部小地区DM研修会 (自衛隊)

30日 〃 DC研修会 ()

〃 南部小地区DM研修会 (南部公民館)

5月3～5日 浜松まつり駐車場奉仕 (中田島)

7日 中央小地区DM研修会 (青少年の家)

9日 地区訓練チーム会議 (24団隊ルーム)

13日 浜松まつり駐車場奉仕反省会 (法林寺)

17日 中央小地区リーダー研修会 (法林寺)

21日 南部小地区DC研修会 (南部公民館)

22日 健康安全委員会 (法林寺)

〃 ヨット委員会 (小林宅)

27日 7NJ地区スカウトフォーラム (法林寺)

28日 中央小地区DC研修会 (青少年の家)

31日 地区コミ会議 (法林寺)

6月10～11日 ヨットリーダー講習会 (寸座マリーナ)

12日 地区訓練チーム会議 (法林寺)

17～18日 SSヨット講習会 (寸座マリーナ)

21日 中央小地区リーダー会 (法林寺)

22日 WB実修所第1教程勉強会 (法林寺)

25日 団委員長研修会 (青年婦人会館)

あ と が き

◎第7回日本ジャンボリー、参加各隊スカウトは去年より数回にわたり事前訓練を行い、出発をまっばかり。日頃の訓練の成果を大いに発揮し、スカウトの友情を高めて頂きたい。

◎訃報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。浜松地区指導者養成委員長・斉木誠二氏は去る6月7日、ご逝去されました。次号にて第1団による故人の追悼記事を予定しております。

◎今年度より浜北5ヶ団が新らしく浜北地区として浜松地区より分離し独立しました。ますますのご発展を期待致します。

弥栄。

◎第2回の写真コンテストへ多数のご応募を、特にスカウト諸君の作品をどしどしお送り下さい。

◎本号は南部小地区担当にて編集、次号は中央小地区担当にて第7回日本ジャンボリー特集号をお送りする予定です。

[S・Y 記]

発 行 所

第72号

日本ボーイスカウト浜松地区事務所

浜松市利町70-4

児童会館内

編集発行責任者

山 中 将 司

印刷所

(株)朝日堂印刷所

昭和53年7月25日発行